



jama
Japan Automobile Manufacturers Association

第9回
自工会 二輪車委員会
メディアミーティング



2024年3月28日
一般社団法人日本自動車工業会
二輪車委員会

ご来場のみなさまへのお願い



スマートフォン・携帯電話は
マナー設定をお願いします

警視庁交通部

日本二輪車普及安全協会

日本二輪車普及安全協会 安全本部

日本自動車工業会 副会長兼二輪車委員会

日本自動車工業会 常務理事

二輪車国際法規戦略部会

日本自動車工業会 二輪車企画部会

二輪車企画部会 普及広報担当

管理官

常務理事

本部長

委員長

部会長

部会長

リーダー

川嶋 泰雄

江原 伸一

荒井 龍介

日高 祥博

江坂 行弘

三留 崇史

川瀬 信昭

早田 和正

本日のプログラム

◆ **自工会 二輪車委員会 日高委員長挨拶**

◆ **テーマ**

「二輪車の安全運転活動 2023年度の振り返りと2024年度の取り組み」

～2023年 交通事故状況～

～技術観点から見る事故死ゼロへの取り組み～

～各団体の交通安全活動～

◆ **質疑応答**

◆ **委員長総括**

◆ **フォトセッション**

日本自動車工業会 副会長

兼二輪車委員会 委員長

日高 祥博

(ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 社長執行役員)



2023年 交通事故状況のまとめ

日本自動車工業会 二輪車委員会

二輪車企画部会 部会長

川瀬 信昭

2023年の事故状況と状態別死者数

自動車は減少、それ以外の状態別は増加。

自動二輪車は前年比14%増の391名、原付は前年比27.2%増の117名。

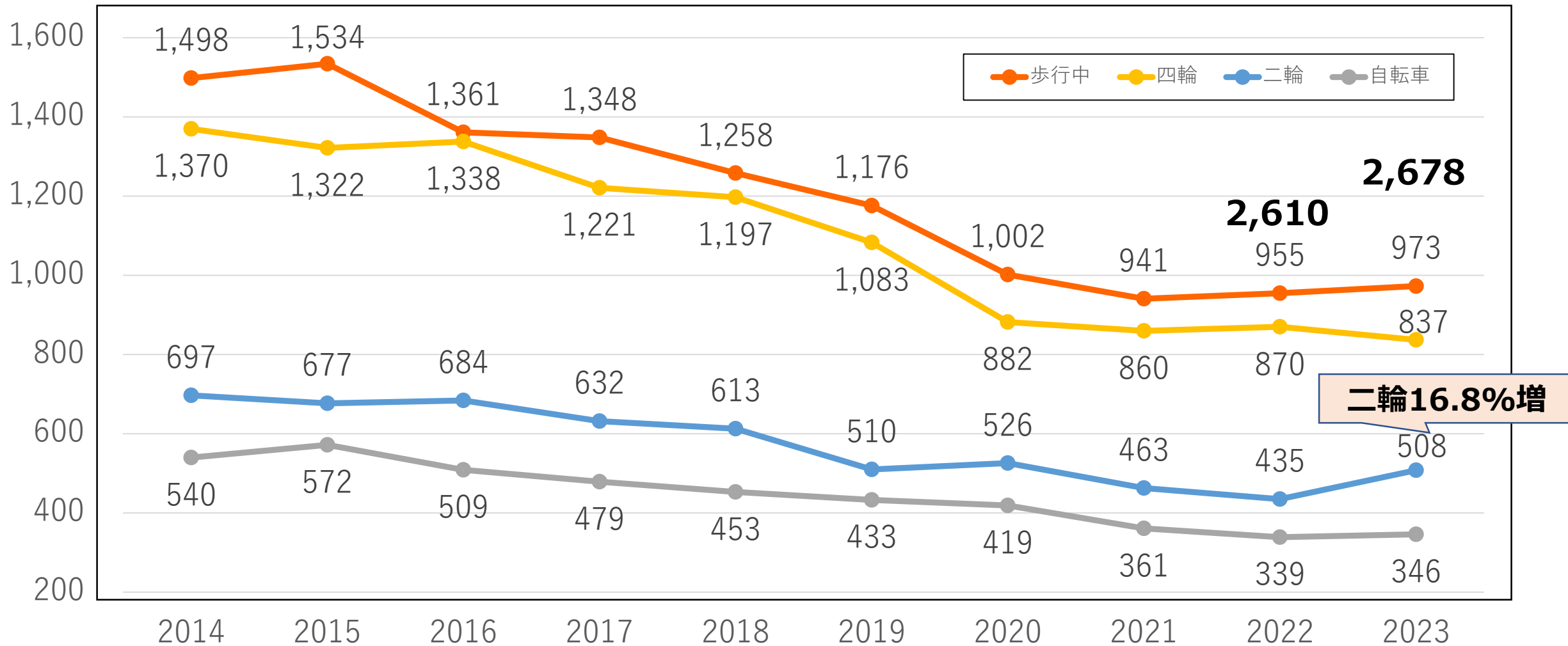
	死者数	前年	前年比	増減率
自動車乗車中	837	870	-33	-3.8%
二輪車乗車中	508	435	73	16.8%
自動二輪乗車中	391	343	48	14.0%
原付乗車中	117	92	25	27.2%
自転車乗用中	346	339	7	2.1%
歩行中	973	955	18	1.9%
その他	14	11	3	27.3%
合計	2678	2610	68	2.6%

※単位/人

(出展：警察庁交通事故統計)

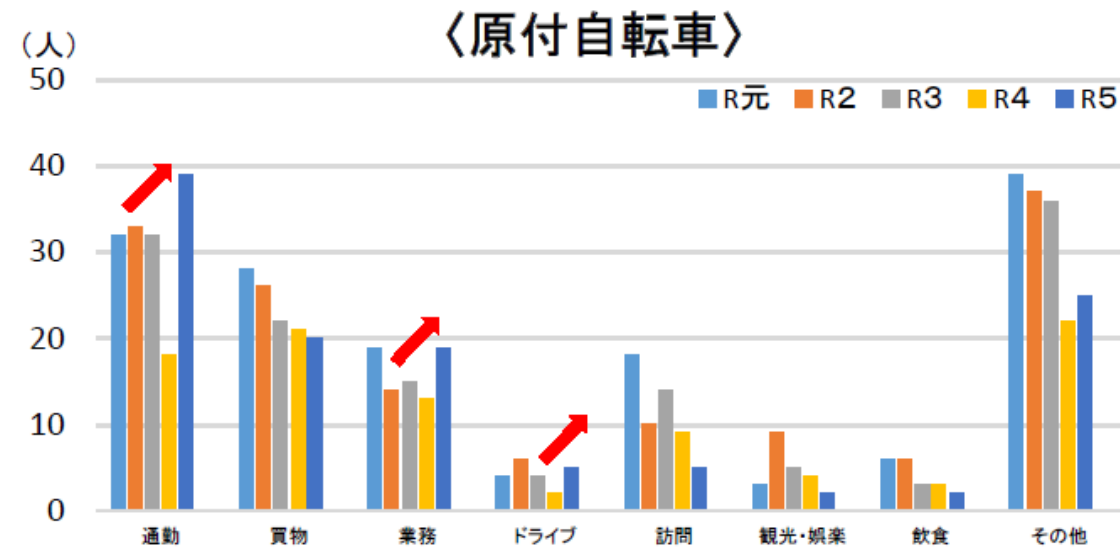
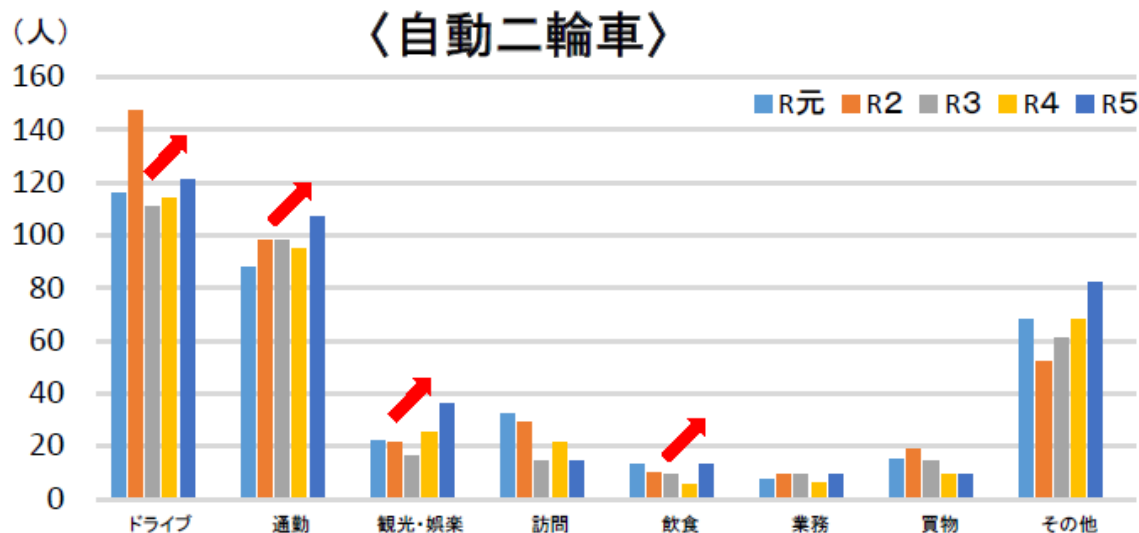
交通事故死者数の推移

過去10年間、各状態別とも減少傾向であったものの、2023年は前年に対し全体で前年比2.6%増の2,678名
特に二輪の死者数は前年比16.8%増の508名



通行目的別の二輪車乗車中の死者数

自動二輪車では「ドライブ」、「観光・娯楽」等が増加、原付自転車では「通勤」、「業務」等による事故が増加



	ドライブ	通勤	観光・娯楽	訪問	飲食	業務	買物	その他
R元	116	88	22	32	13	7	15	68
R2	147	98	21	29	10	9	19	52
対前年増減率	26.7	11.4	-4.5	-9.4	-23.1	28.6	26.7	-23.5
R3	111	98	16	14	9	9	14	61
対前年増減率	-24.5	0.0	-23.8	-51.7	-10.0	0.0	-26.3	17.3
R4	114	95	25	21	5	6	9	68
対前年増減率	2.7	-3.1	56.3	50.0	-44.4	-33.3	-35.7	11.5
R5	121	107	36	14	13	9	9	82
対前年増減率	6.1	12.6	44.0	-33.3	160.0	50.0	0.0	20.6

	通勤	買物	業務	ドライブ	訪問	観光・娯楽	飲食	その他
R元	32	28	19	4	18	3	6	39
R2	33	26	14	6	10	9	6	37
対前年増減率	3.1	-7.1	-26.3	50.0	-44.4	200.0	0.0	-5.1
R3	32	22	15	4	14	5	3	36
対前年増減率	-3.0	-15.4	7.1	-33.3	40.0	-44.4	-50.0	-2.7
R4	18	21	13	2	9	4	3	22
対前年増減率	-43.8	-4.5	-13.3	-50.0	-35.7	-20.0	0.0	-38.9
R5	39	20	19	5	5	2	2	25
対前年増減率	116.7	-4.8	46.2	150.0	-44.4	-50.0	-33.3	13.6

(出展：警察庁 令和5年における交通事故の発生状況について)

2023年の自動二輪車乗車中の年齢層別死者数の推移

20~24歳の自動二輪車乗車中死者数は63名、前年比26名増加、70.3%増となり、死者数・増加数が最も高い年齢層となった。

	死者数	前年	前年比	増減率
10~14歳	0	1	-1	-100.0%
15~19歳	30	35	-5	-14.3%
20~24歳	63	37	26	70.3%
25~29歳	27	26	1	3.8%
30~34歳	14	13	1	7.7%
35~39歳	15	26	-11	-42.3%
40~44歳	34	27	7	25.9%
45~49歳	34	44	-10	-22.7%
50~54歳	52	46	6	13.0%
55~59歳	36	35	1	2.9%
60~64歳	39	23	16	69.6%
65~69歳	20	14	6	42.9%
70~74歳	8	9	-1	-11.1%
75~79歳	11	3	8	266.7%
80~84歳	4	4	0	0.0%
85歳以上	4	0	4	-
合計	391	343	48	14.0%

(出展：警察庁交通事故統計)

技術観点から見る事故死ゼロへの 取り組み

日本自動車工業会 二輪車委員会
二輪車法規戦略部会 部会長

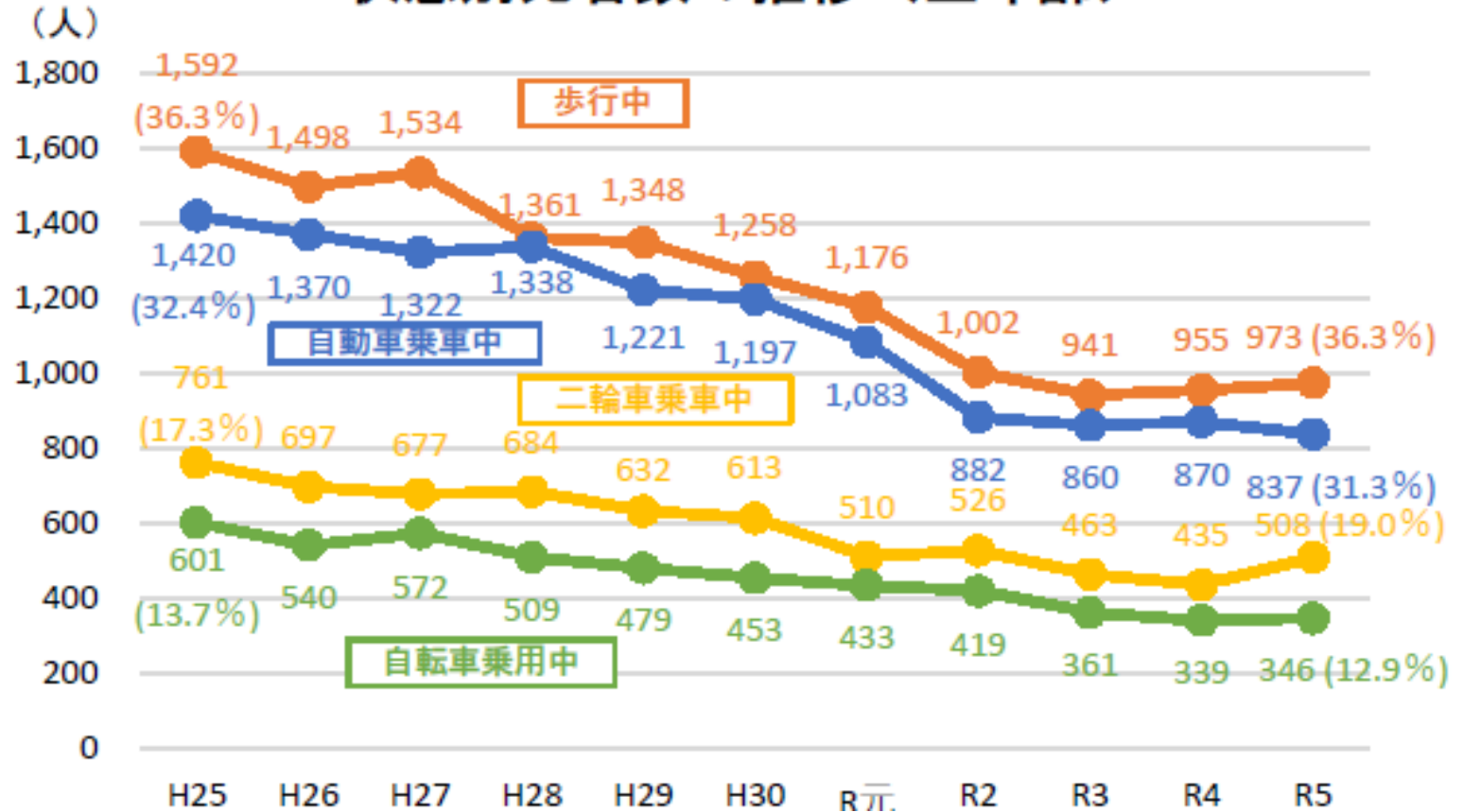
三留 崇史

事故削減

- 教育・取り締まり
- 安全な交通インフラ
- **安全装備 ⇒ 今日のテーマ**

二輪車乗車中事故死者削減は4輪車乗車中、歩行者に比べて少ない。令和5年は3年ぶりに増加

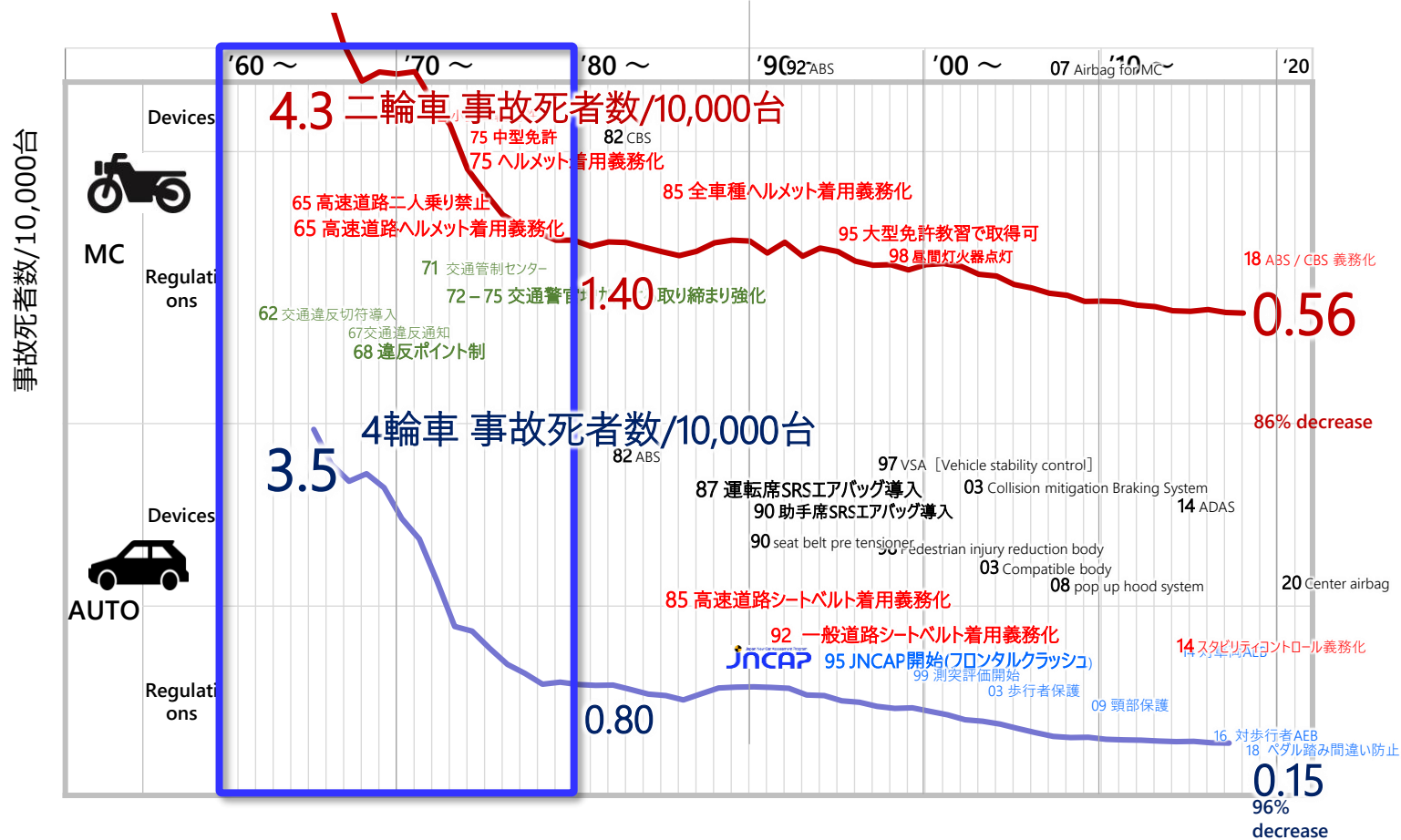
状態別死者数の推移（全年齢）



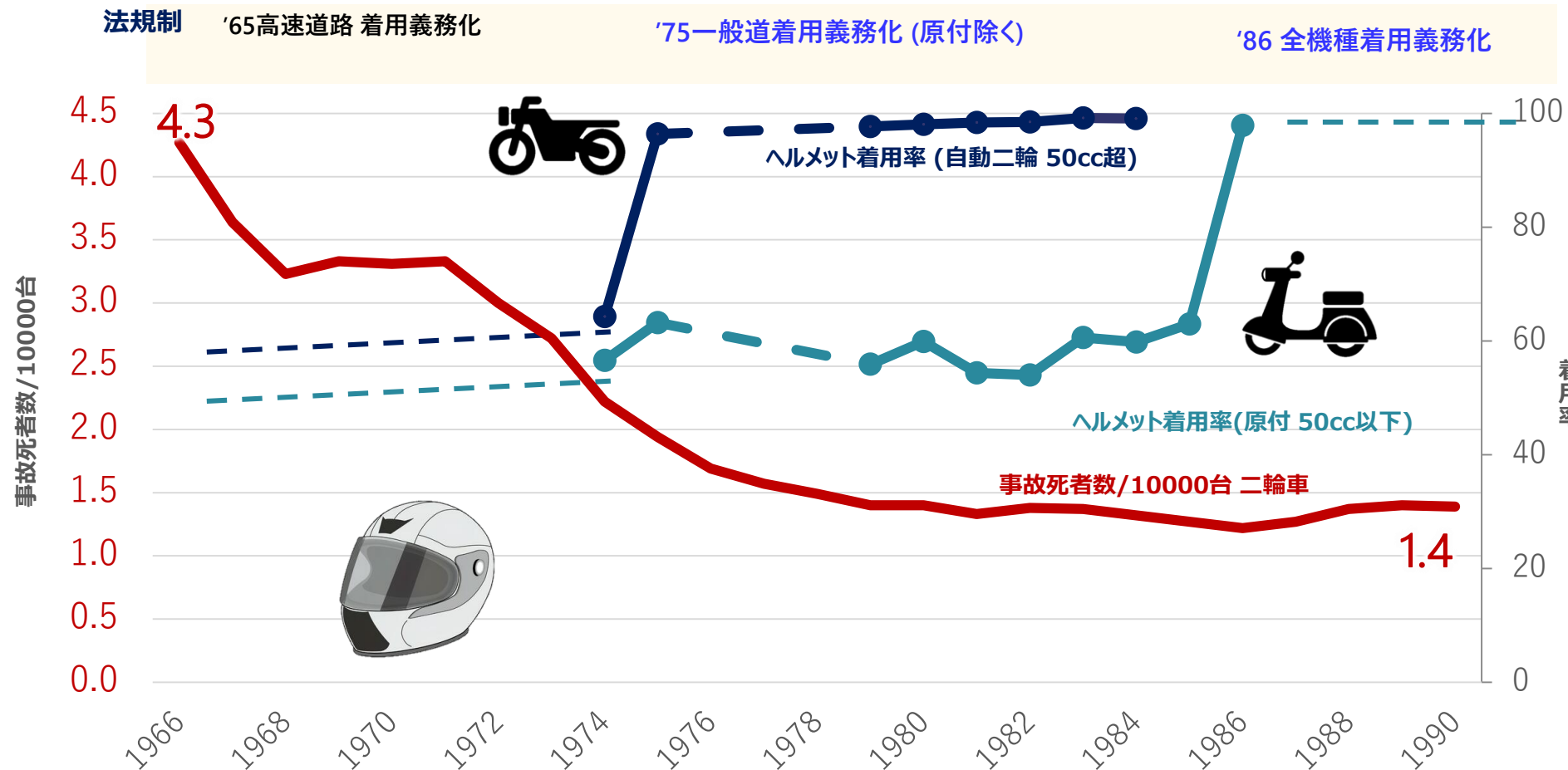
警察庁データ

日本における事故死者削減

～1980年代の事故死者は総合的な施策、教育、交通取り締まり、インフラの整備で大幅に減少。
 1990年代以降4輪はシートベルト、エアバッグで更なる削減、2輪は追従できていない。この事故時の傷害を低減する“**パッシブセーフティ**”の対策が必要。まずはヘルメットと保護具着用によって死者数削減を目指したい。

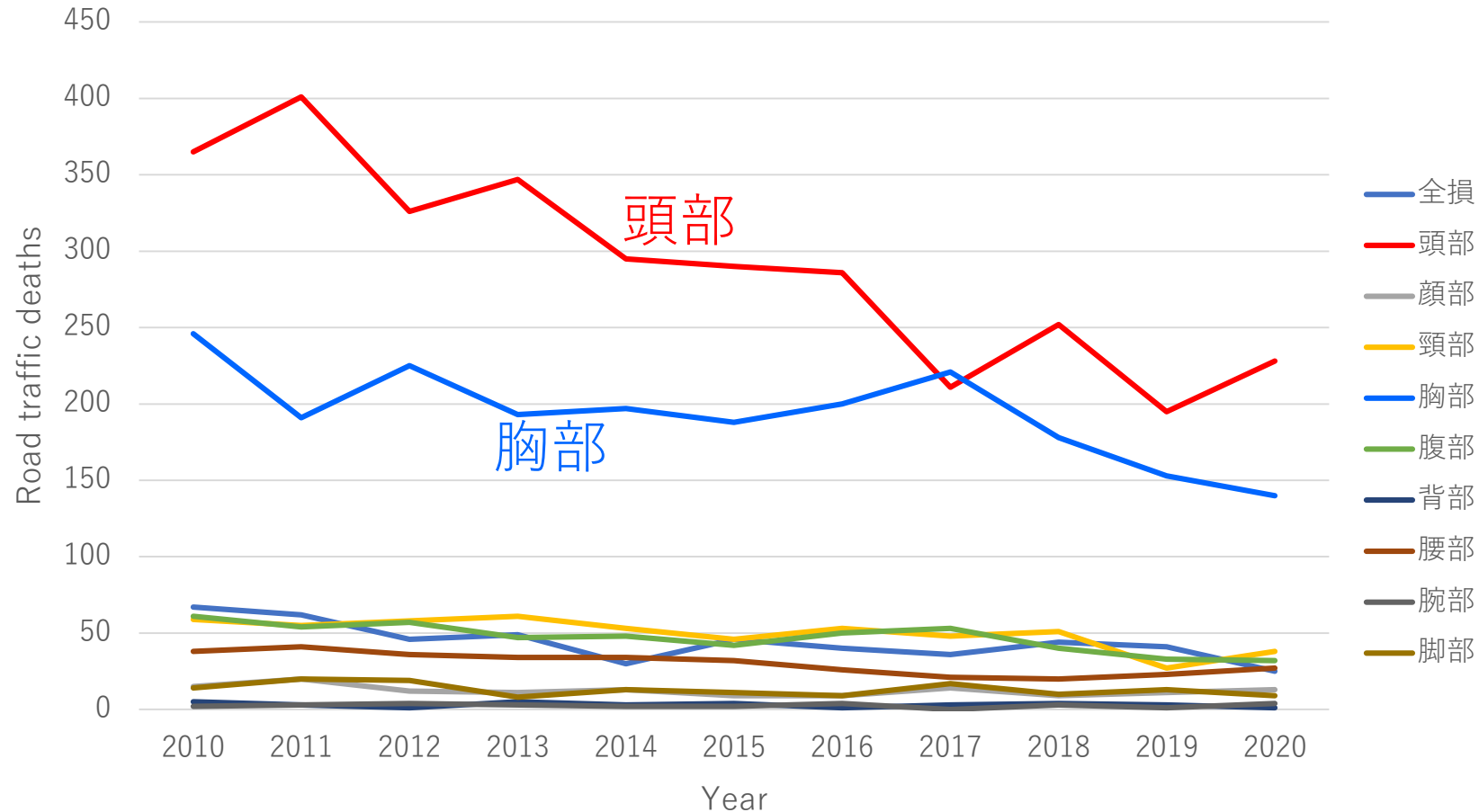


日本における二輪車乗車中のヘルメット着用率は十分に高いと言える。
 ヘルメットの効果についてはすでに検証されていて効果は大きい。
 ただし、あご紐の正しい装着など改善するべき点が多い ⇒ **企画部会が新たに検証中**



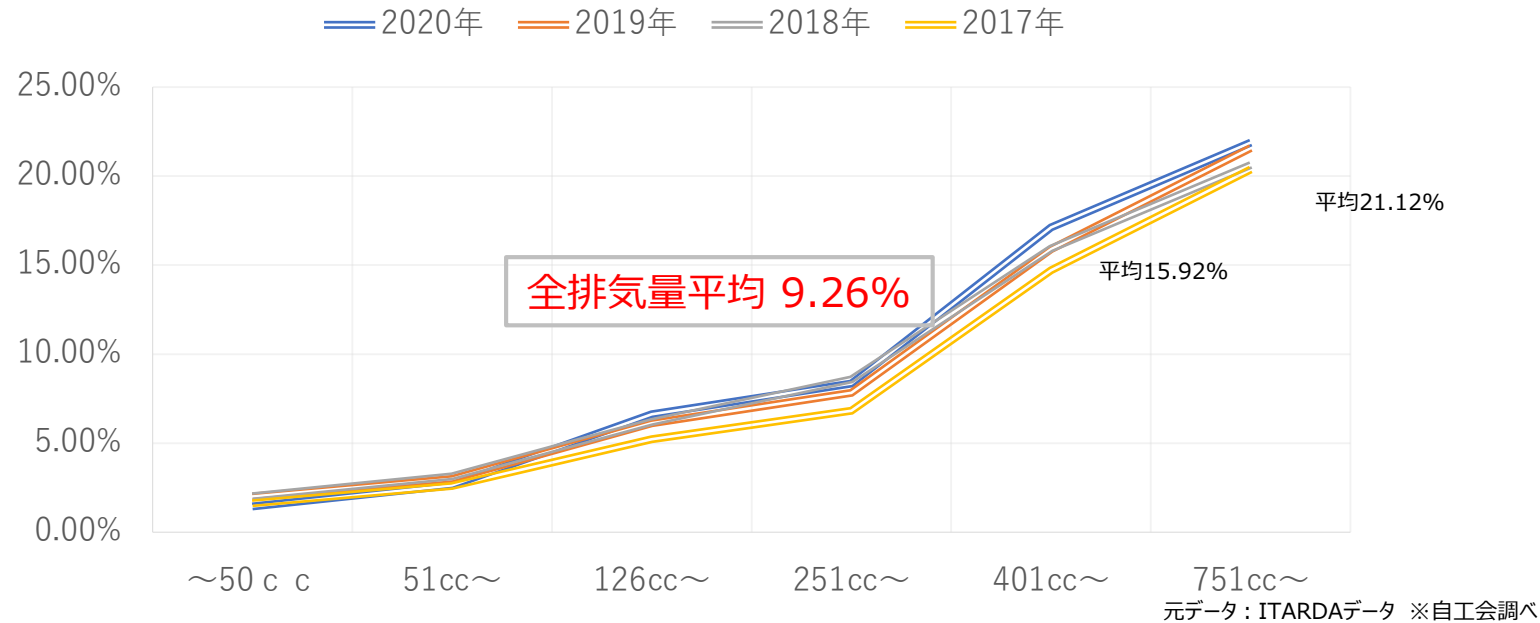
※ Source : Japan National Police Agency

二輪乗車中死亡原因損傷部位



死亡原因を損傷部位別に見ると頭部に次いで胸部が多い、他の部位は相対的に死亡事故数が少ない。よって積極的に胸部を保護すべき。

胸部プロテクター着用率



ヘルメット着用率に比べると胸部プロテクター着用率は低い。



JMCAが推奨する胸部プロテクターは
欧州規格 EN1621-3に準拠していて十分な
保護性能を期待できる。
この着用率向上を推進したい

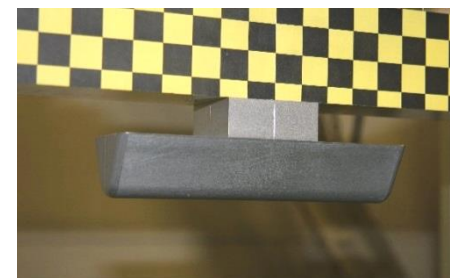
自工会による 胸部プロテクター欧州規格の妥当性確認

自工会はプロテクター着用推奨活動を行うとともに、プロテクターの性能向上に向けた研究も実施してきた。

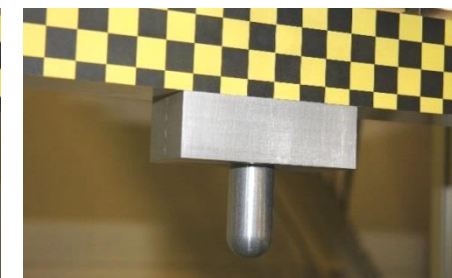
欧州規格EN1621-3の概要

	衝撃吸収試験	荷重分散試験
打撃点	4点(A、B、C、D点)	2点(A、B点)
衝突エネルギー(衝突速度)	50J(4.5m/s相当)	同左
インパクト	突起形状(160×50mm、衝突面R=12.5mm) 質量5kg(落下ストライカの全質量)	半球形状(φ=25mm) 質量5kg(落下ストライカの全質量)
アンビル	円柱形状(φ=100mm、衝突面R=150mm)	同左
ガードリング	-	中空円筒形状(内径=120mm、肉厚=20mm、 高さ=アンビル+10mm)
試験時環境条件	温度:23°C±2°C、湿度:50%±5%	同左

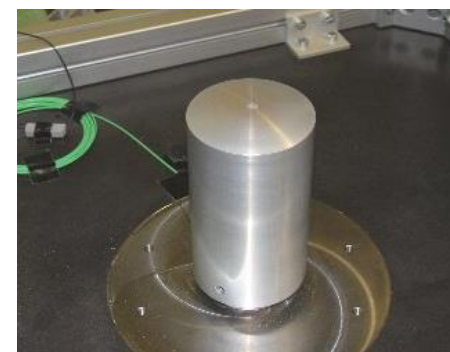
簡易な試験装置で
性能を確認できる



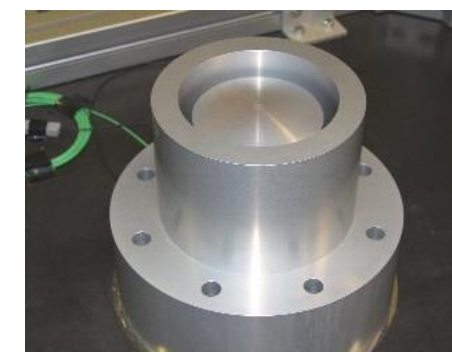
衝撃吸収試験用インパクト



荷重分散試験用インパクト

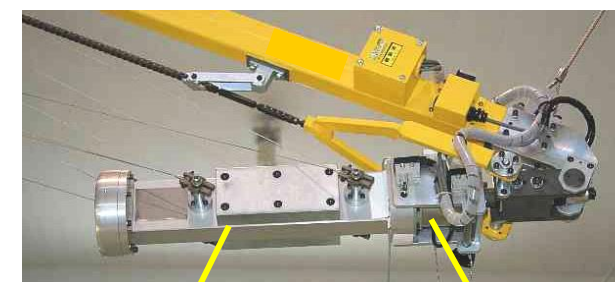


アンビル

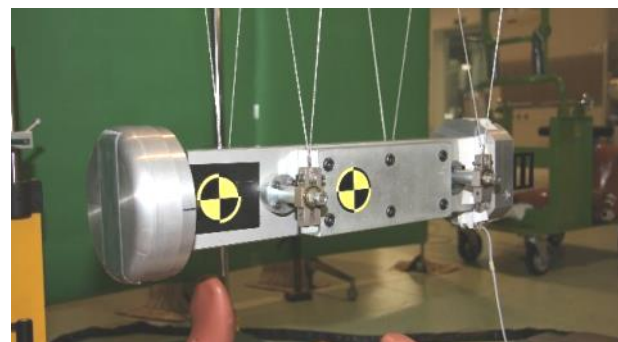


ガードリング

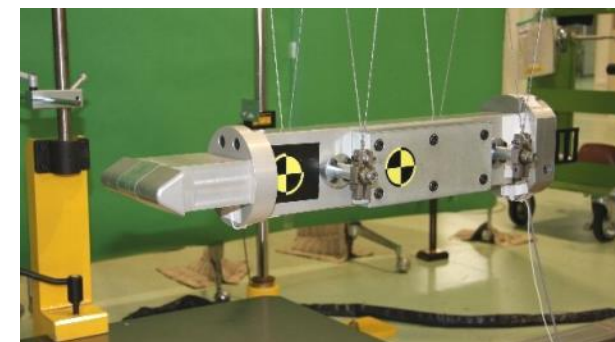
ダミー胸部衝撃試験によって
より正確な保護性能の確認



保護具装着状態

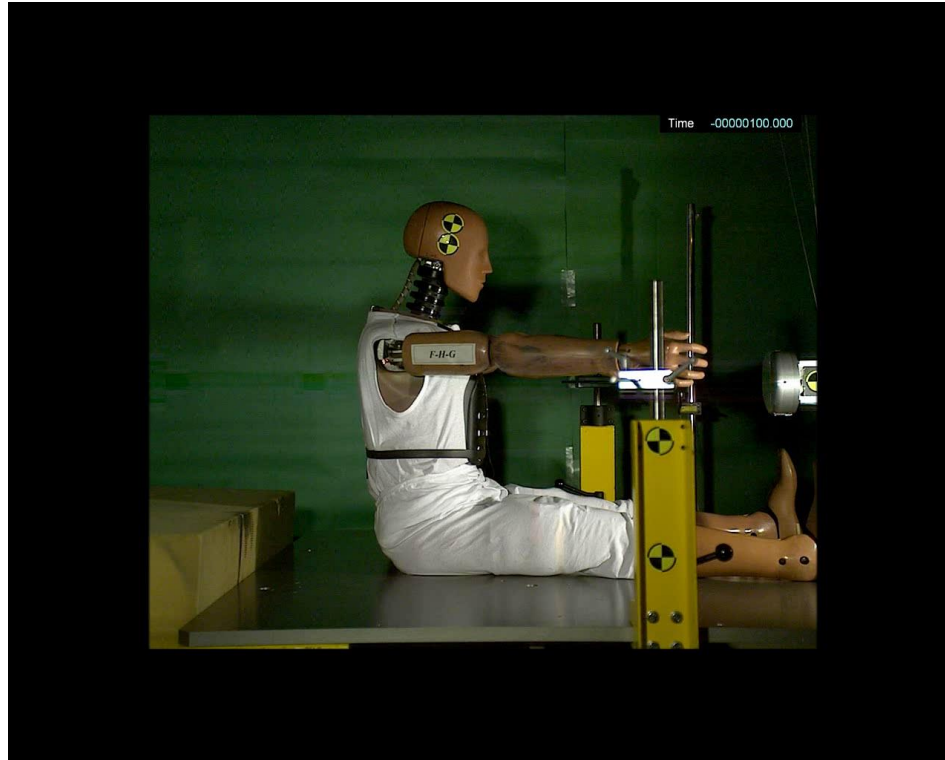


平面インパクト



突起インパクト

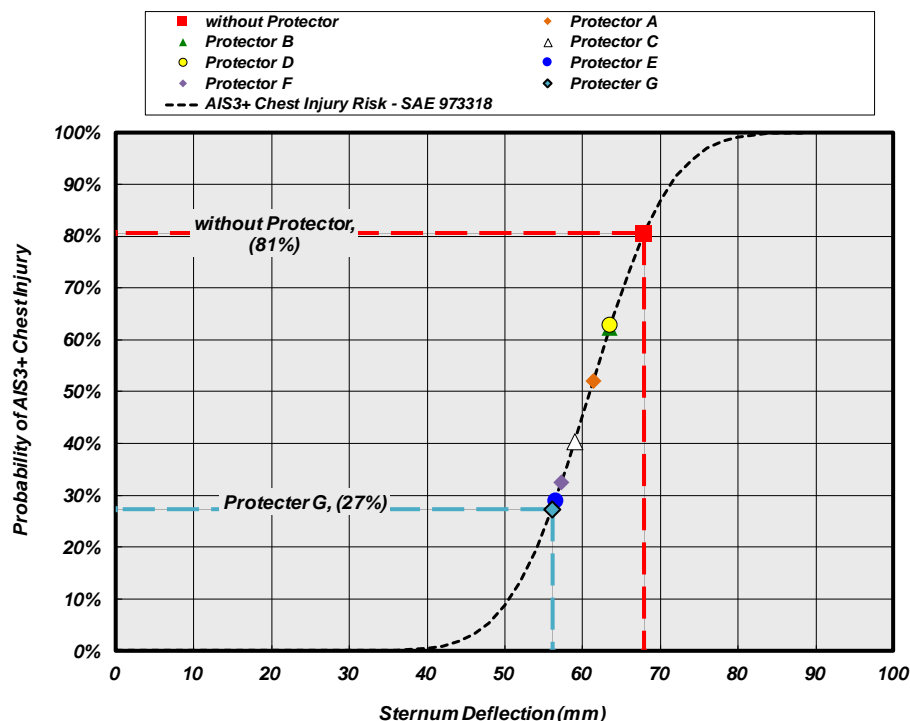
実際の打撃を保護具有無で実施し、衝撃値を比較



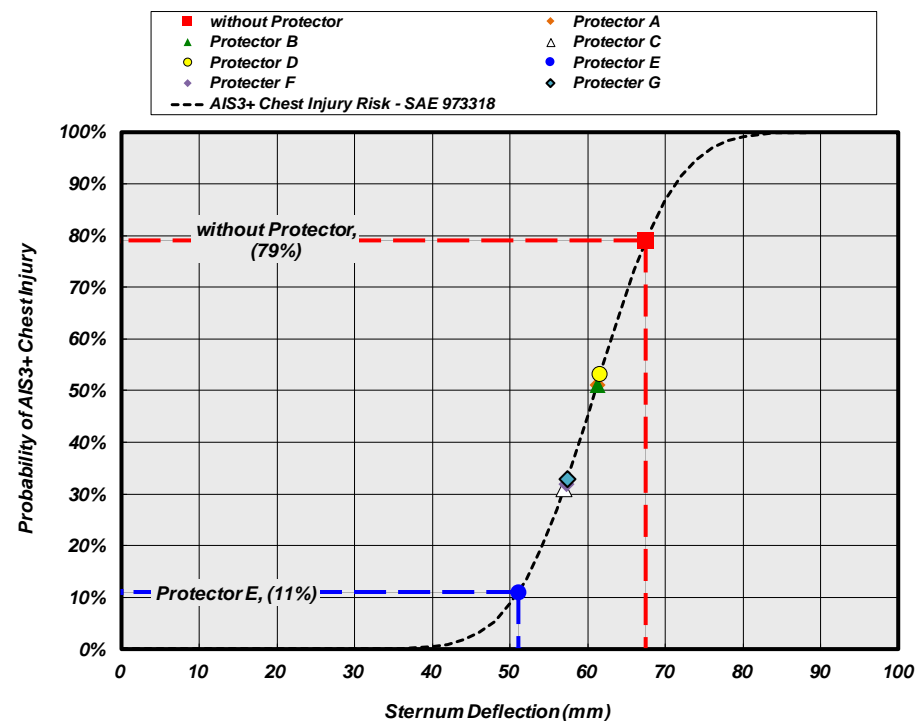
平面インパクト試験



突起インパクト試験



平面インパクト

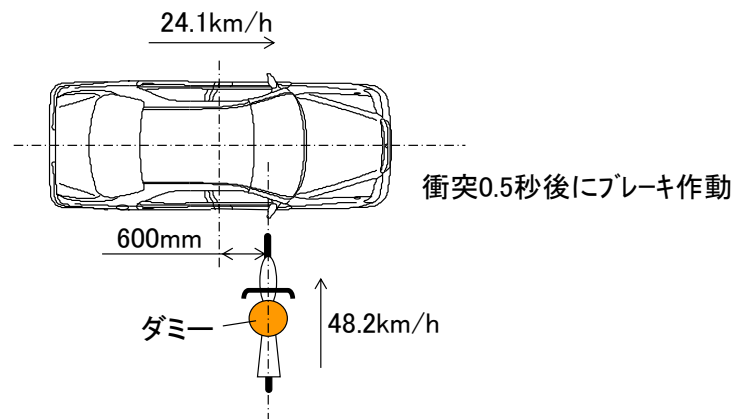


突起インパクト

保護具によっては重傷以上（AIS3+）の傷害発生確率がプロテクター無の半分以下となるような傷害低減効果のあることが確認できた。

JAMAテスト結果をJMCA(用品連合会)に公開、またテストにも参加してもらった。特に突起インパクト試験の結果が思わしくなく、各社製品を改善して貰った。
⇒ 国産胸部プロテクターの性能向上に貢献

実際の事故時に胸部が打撃される状況を確認



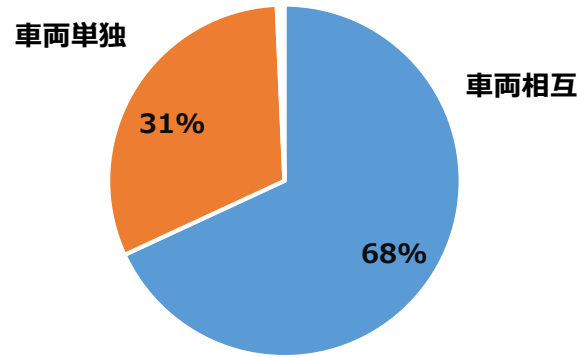


※自工会Webページにて公開中

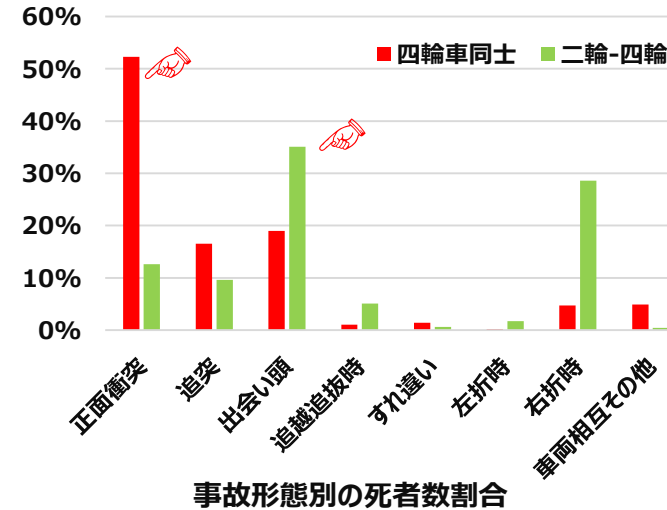
事故回避の対策(アクティブセーフティ含む)について

- 二輪単独事故については、啓発活動による安全運転推奨がメイン、先進安全装備と呼ばれる車両装備(運転補助、自動運転)は二輪車の特性上導入が困難

■ 車両相互 ■ 単独 ■ 対人 ■ 列車



二輪車乗車中の死亡事故分類
(2013-2017)



事故形態別の死者数割合
(2013-2017)

- ✓ 右折事故は、二輪車にとってリスクの高い特徴的な事故形態といえる

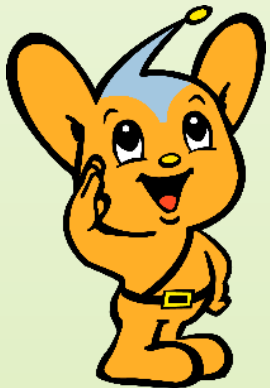
- 車両相互事故では、右直事故(二輪直進vs四輪右折)と出会い頭事故が目立つ。二輪車が四輪車ドライバーに認知されていない事が主な原因。ドライバーに認知されるためにはどうするか研究を進めているが、その一つとして四輪車のAEBSシステムの効果を期待しその為に二輪側が協力できないか検討している。
- 二輪車の特性を考えると、車両挙動に介入するAEBSなどは現状困難である。HMI(警報をライダーに伝える方法)を通しての種々の警報を出せないか検討を始めている。

警視庁交通部 安全運転普及活動について

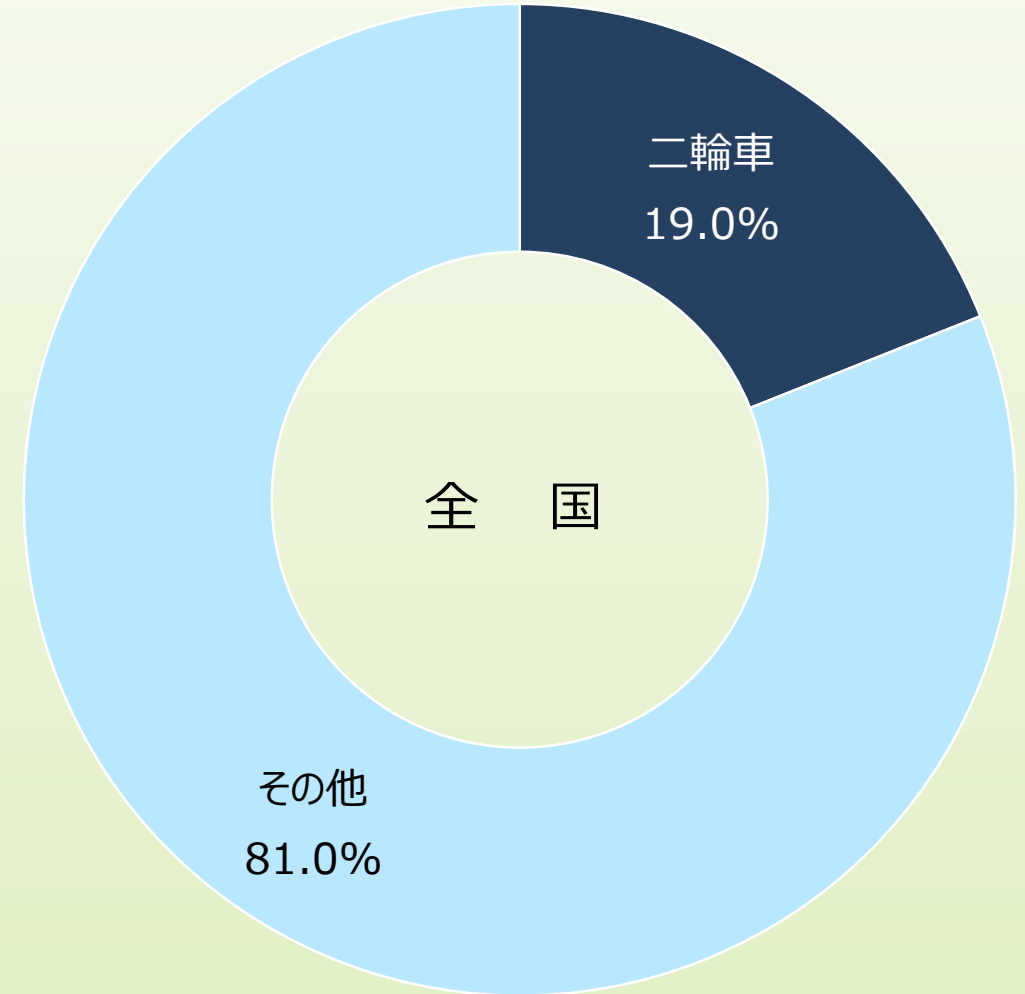
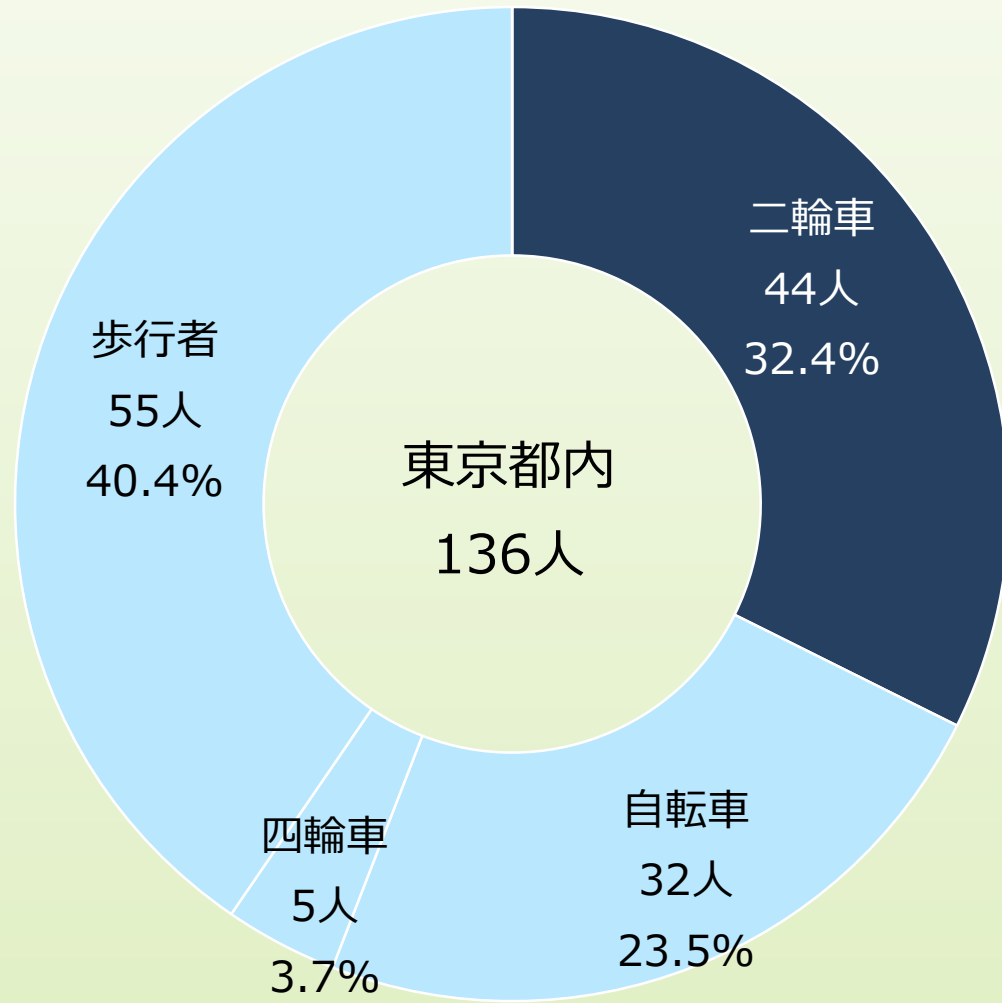
警視庁交通部 管理官

川嶋 泰雄

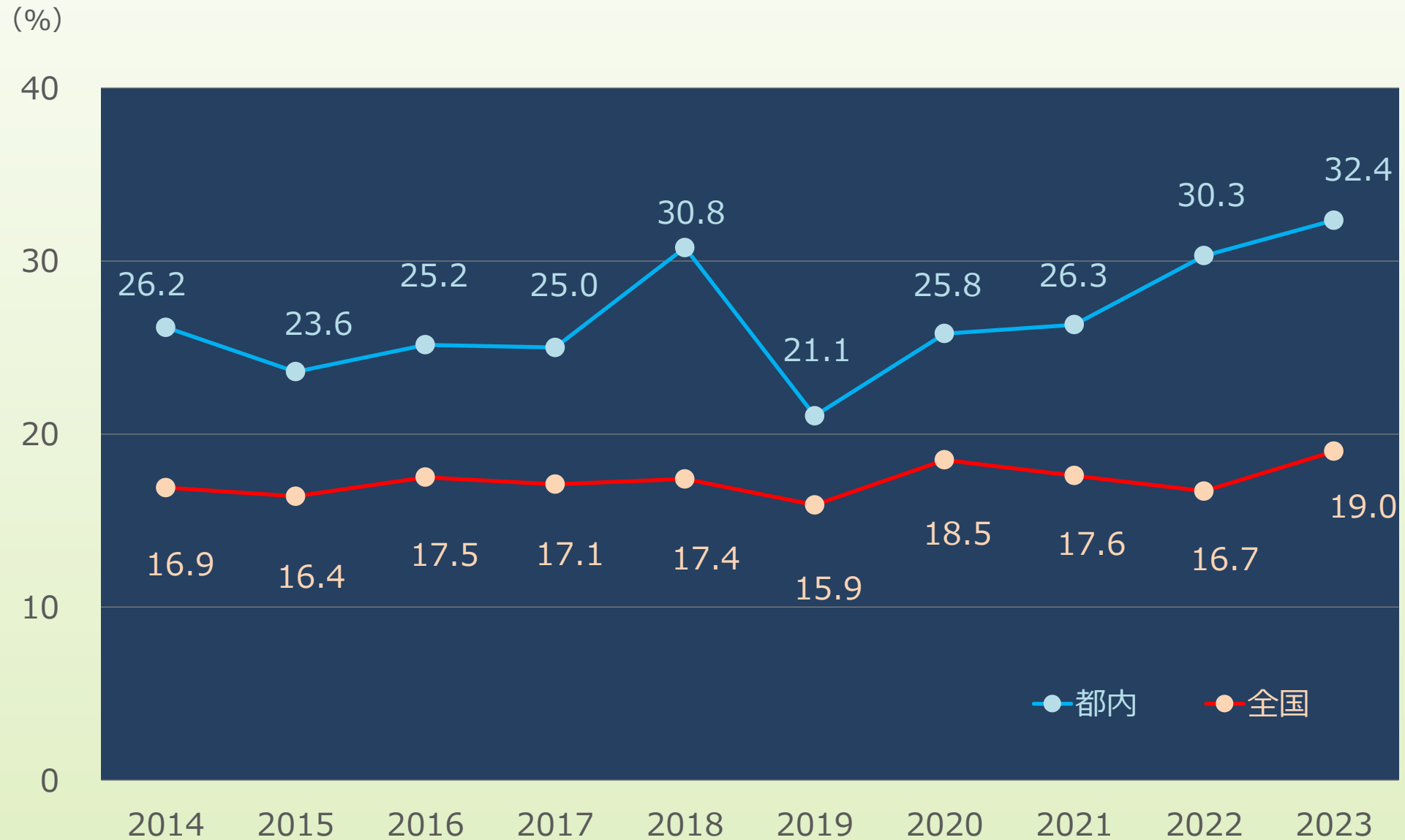
二輪車の交通死亡事故発生状況



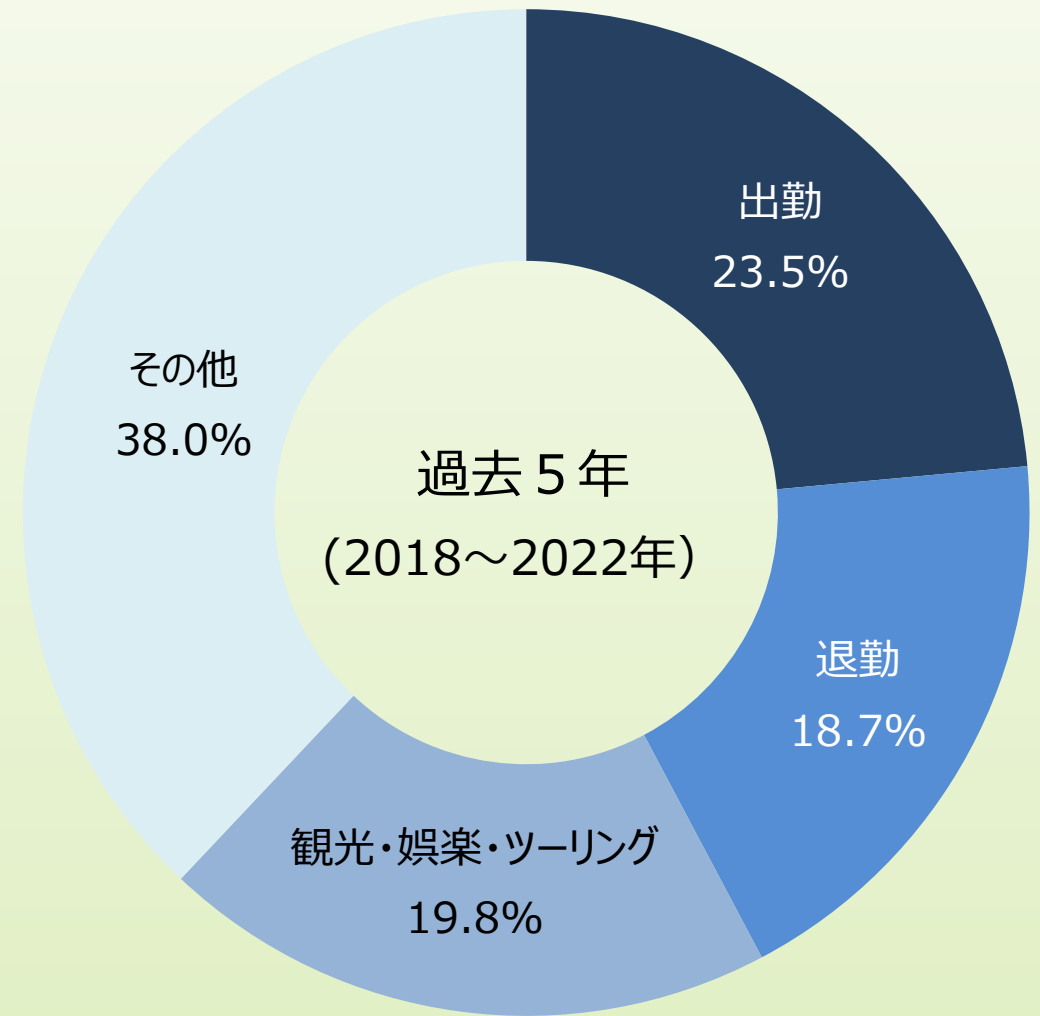
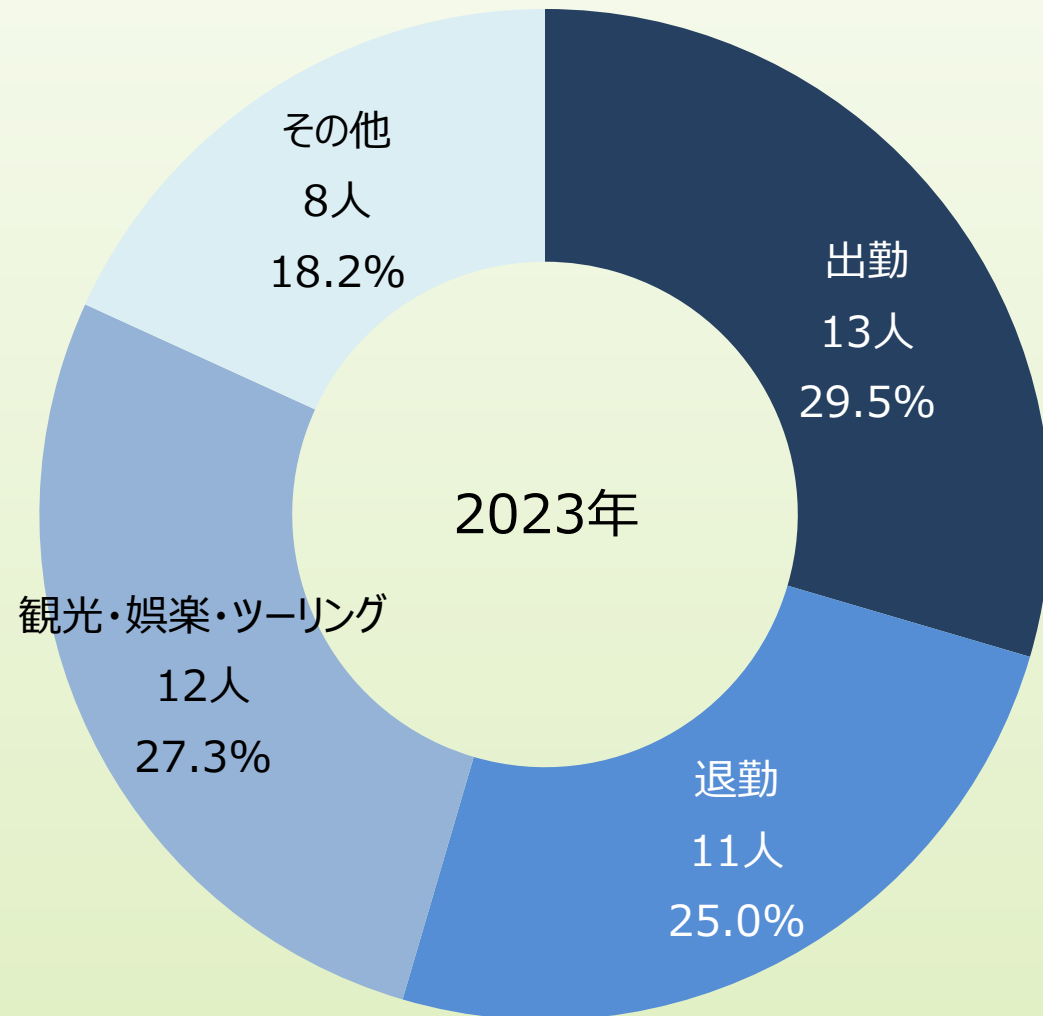
交通事故 構成率 (状態別)



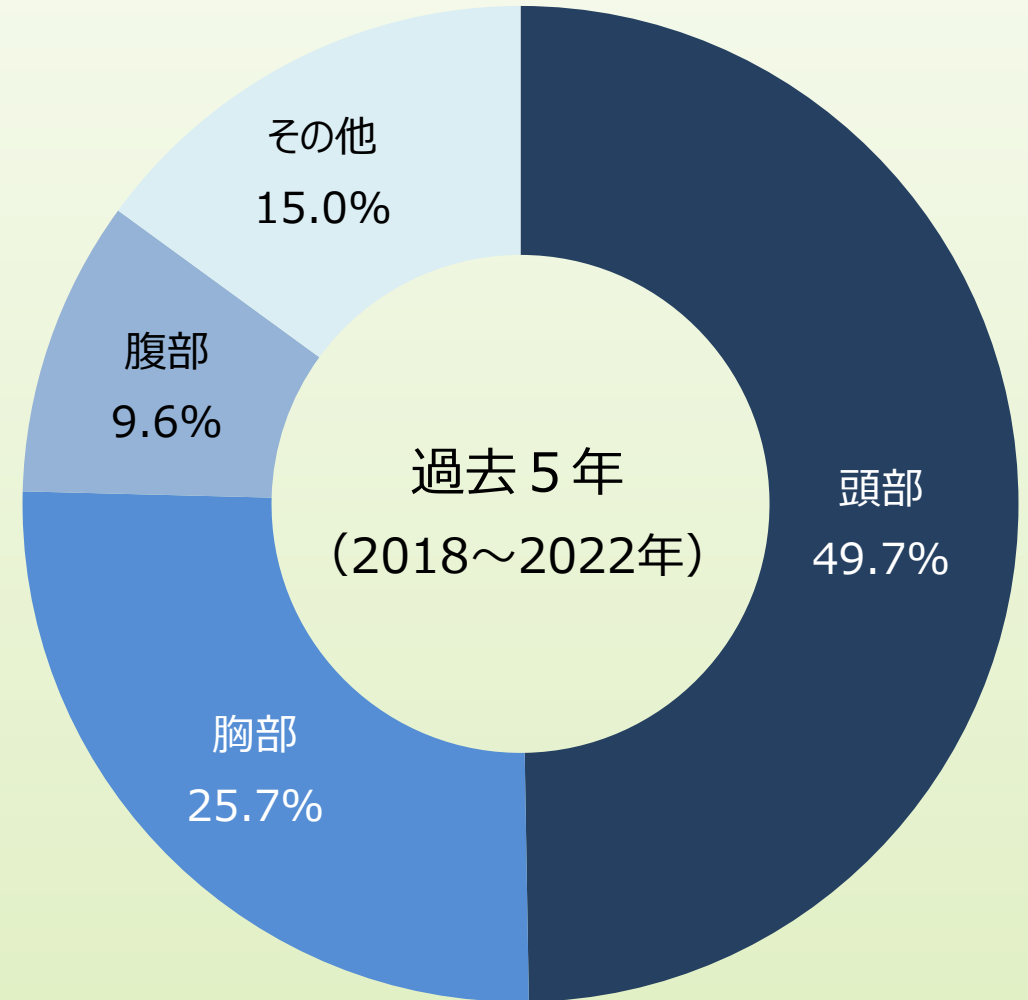
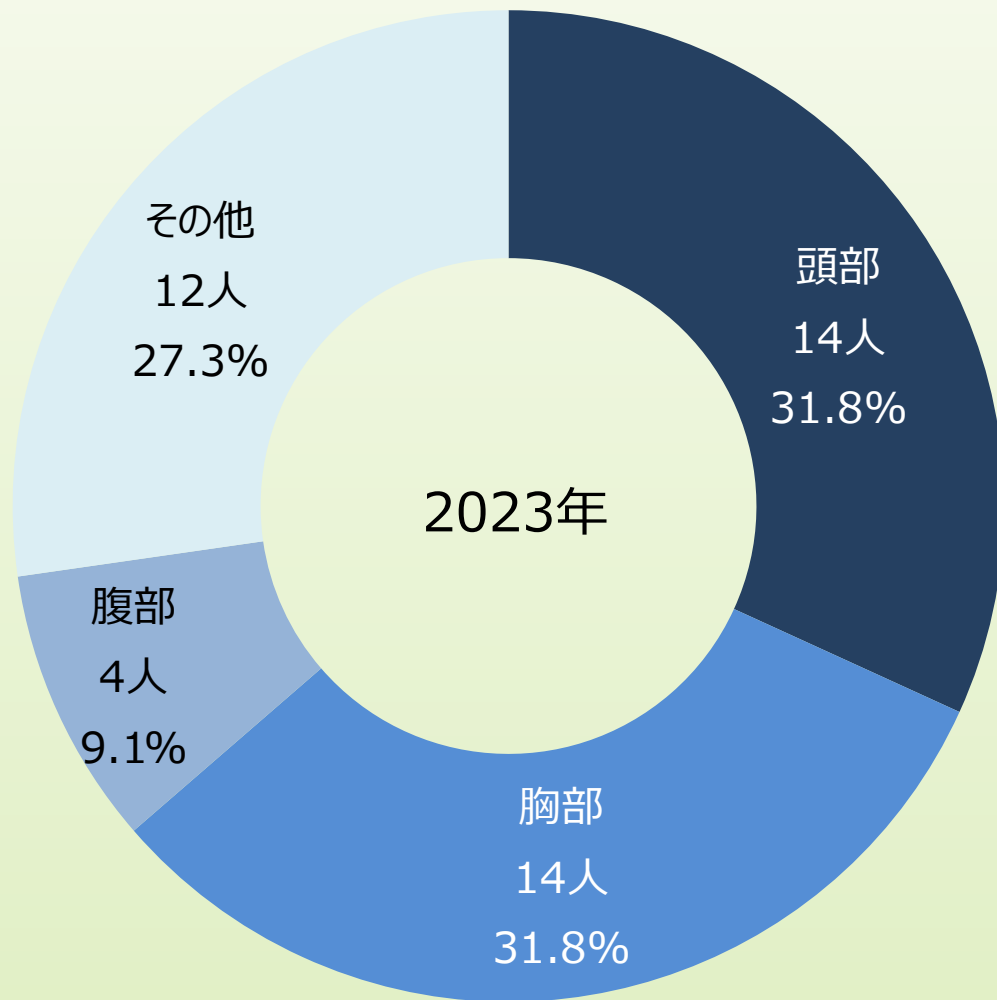
二輪車の死亡事故 構成率の推移



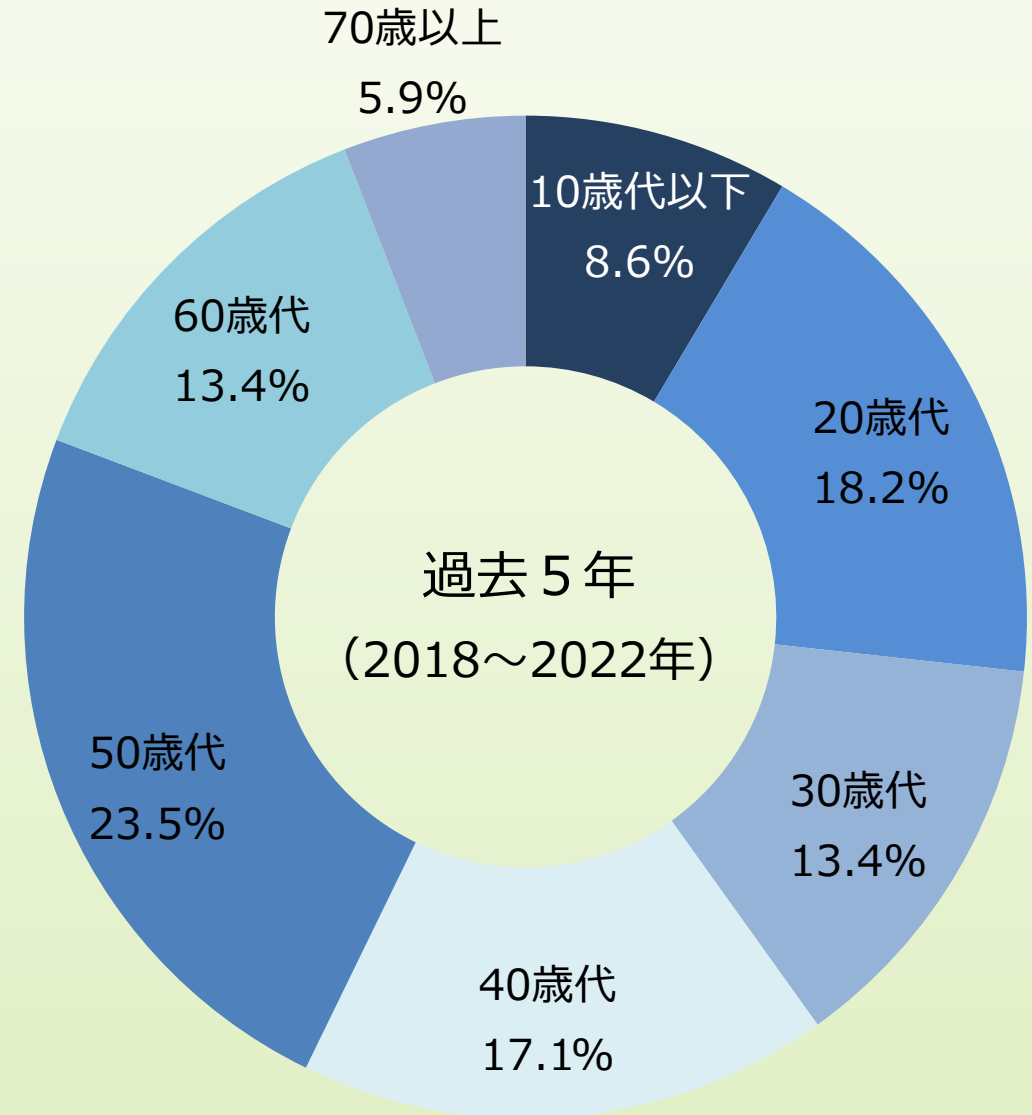
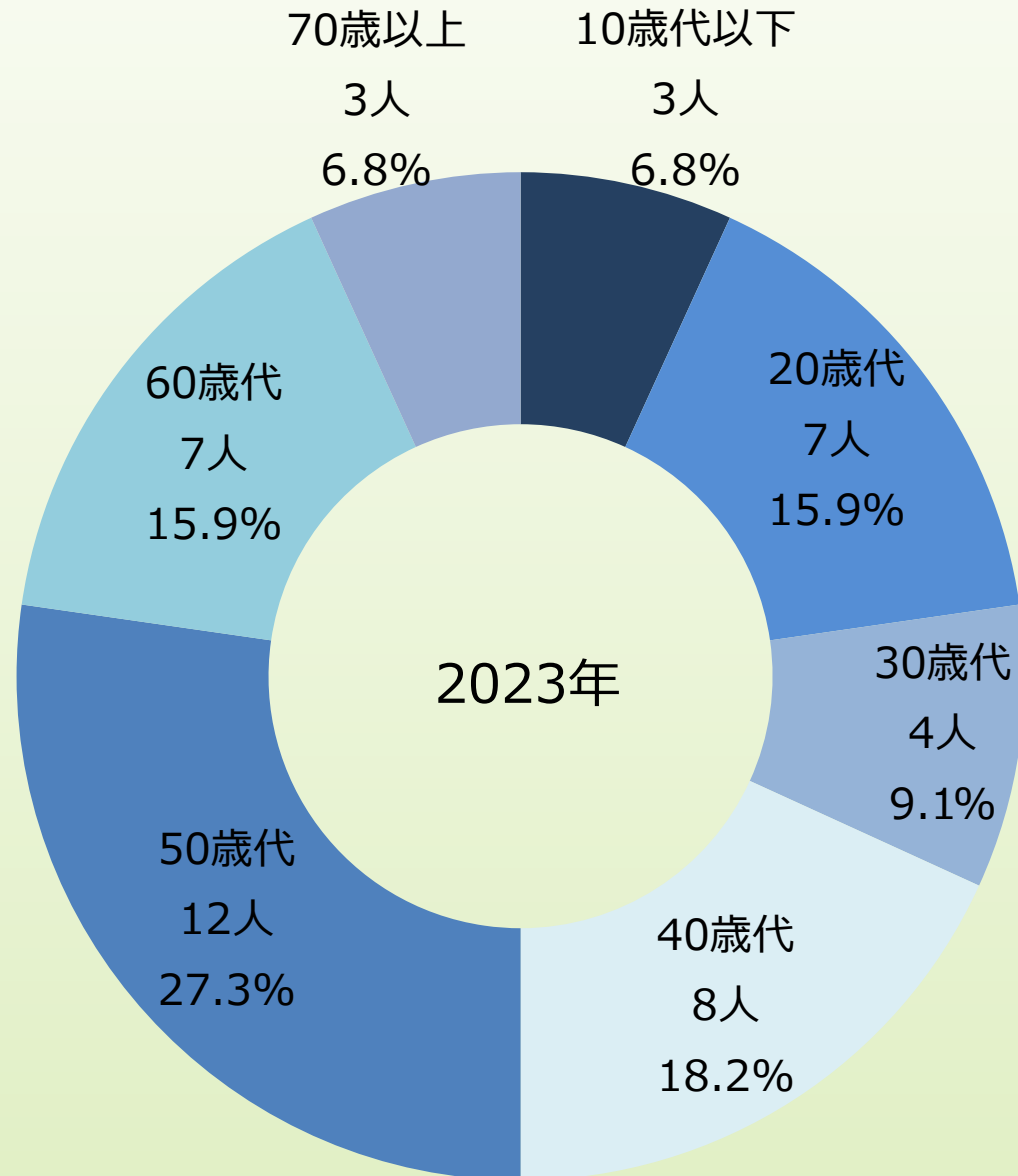
二輪車の死亡事故（通行目的別）



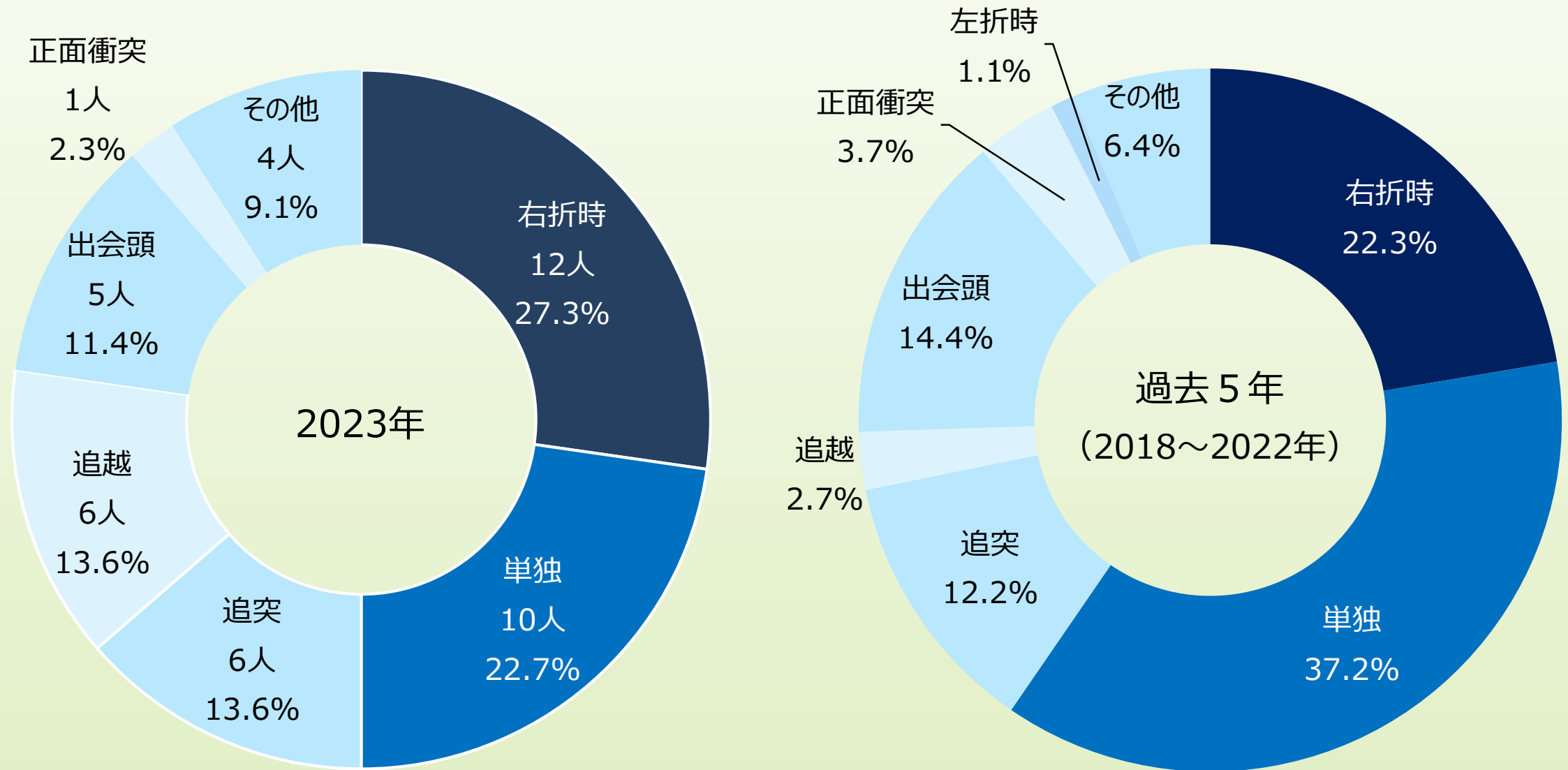
二輪車の死亡事故（損傷主部位別）



二輪車の死亡事故（年代別）



二輪車の死亡事故（事故類型別）



二輪車利用者に対する交通安全啓発

ヘルメットのおごひもの正しい結束



胸部プロテクターの着用促進



二輪車ストップ作戦



二輪車実技教室



二輪車用品店と連携した啓発活動



奥多摩地区における啓発活動



8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY



デリバリー業安全運転競技会



二輪車実技教室の開催

主催	講習	回数	参加者数
交通総務課	セーフティライディング・スクール	18回	1,352人
交通総務課	交通安全教育センター	78回	1,904人
交通総務課 二輪車普及安全協会	グッドライダーミーティング	4回	125人
各警察署	実技講習会	298回	10,677人





日本二輪車普及安全協会 安全運転普及活動について

日本二輪車普及安全協会 安全本部長

荒井 龍介

令和5年度 第9回
自工会主催「二輪車委員会メディアミーティング」
における安全領域活動報告

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
(担当：理事兼安全本部長 荒井 龍介)

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会における 安全領域活動の概念等

- 二輪車ユーザーが「安心で安全、便利で快適、そして楽しいバイクライフの実現」をするべく協会は活動し、安全領域に関しては「安全運転の訴求」及び「二輪車防犯登録」事業活動を展開、「安全かつ安心して乗れる二輪車」というイメージを発進する。
- 内閣府始め関係省庁の後援、関係団体及び二輪車販売メーカーの協力を得た交通安全啓発活動による「ユーザーへの安全意識の向上」を行う。
- 有識者を交えた講義、ディスカッションを介して「安全への意識付け」「各分野における安全意識と相互の意見交換」による安全に対する考察、意識付けを図る。
- 初心者を中心とした二輪車安全運転講習会開催により、二輪車に関する「正しい知識の醸成」「安全・安心な技能の取得」を実践した事故防止対策を推進する。
- 将来を担う若者、特に高校生に視点を置いた安全教育を通じて「バイク操作の重要性」「バイクの楽しさ」を学んでもらい、安全意識の醸成を目指す。

安全領域活動その1

二輪車安全運転推進運動事業

1. 目的

二輪車（自動二輪・原付）の利用者に対して「交通ルールの遵守とマナーアップ」を重点とした安全運転を推進すべく、内閣府始め関係省庁の後援、関係団体や機関の協力を得て、家庭・職場・学校・関係諸団体にもこの運動の推進を広く呼びかけ、二輪車の交通安全の防止を図る。

2. 運動期間

毎年「9月11日から同30日までの20日間」

3. 訴求展開活動

- ・ ネクスコ様のご協力を得て全国の主要SA・PA各エリアに、また各地域事務所を通じ、道の駅など二輪車ユーザーが立ち寄ることが想定されるような場所に展開、また二輪車各販売会社様の販売店において、ポスター又はデジタルサイネージを掲示
- ・ 運動期間に、安全運転講習会を開催
- ・ その他各地方事務所の実情に即した安全運転活動を展開



安全領域活動その2 シンポジウム事業

5. 過去の記録

◆ 令和4年度（第1回）

- ① 警視庁交通総務課管理官
「上半期の二輪車の交通事故発生状況及びヘルメット・胸部プロテクターの着用状況について」
- ② 埼玉県教育局県立学校部保健体育課指導主事
「高校生の自動二輪車等の交通安全講習会について」
- ③ ヤマハ発動機販売株式会社安全普及推進本部副本部長
「イベントやレッスン、二輪販売店で見られるユーザーの安全運転意識変化とこれからについて」
- ④ レインボーモータースクール和光インストラクター
「若手教習生を対象とした安全運転意識・指導ポイントについて」



◆ 令和5年度（第2回）

- ① 埼玉県警察本部交通部交通機動隊技能指導官
「実践教育から見た二輪車の安全運転」
- ② 熊本県立矢部高等学校教諭
「矢部高校二輪車競技部で取り組む交通安全運転教育」
- ③ 有限会社カワサキショップ山梨代表取締役
「安全運転推進活動について」
- ④ 無限電光株式会社総括マネージャー
「安全用品メーカーから見るユーザーの安全意識と今後の課題について」



安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

1. 過去の経緯

- ・ 昭和58年から二輪車乗車中の死亡事故が増加傾向にあり、昭和58年（1983年）では2,257人（全交通事故死者数からの構成率23.7%）、その後年々増加傾向にあり、昭和62年は2,402人（構成率25.7%）という悲惨な結果が示されている。
- ・ このような実態を受け、「二輪車安全運転推進委員会（通称中央二推：全日本交通安全協会内）」が、昭和62年6月、諸情勢を考慮し、二輪車の正しい知識、技能を修得させるため、安全運転講習会の強化を関係機関に発信し、併せて当協会には協力要請がなされた。
- ・ 当協会は昭和57年当時、二輪車に関わる交通事故の増加傾向を受け、「店頭における個別安全指導」を目的に、「グッドライダー宣言」という制度を導入、ユーザーに安全意識と交通社会人として自覚を促すことを実践してきた。
- ・ 以上のような変遷を経て、平成3年「グッドライダーミーティング」という名称で二輪車安全運転講習会を開催、32年間継続実施されてきた。

2. 新たな発進

- ・ 令和5年における二輪車乗車中の交通死亡事故数508人と、昭和62年当初から比較すれば激減しているが、近年減少傾向だったものが、令和4年と比較すると73人増加している。このようなことも憂慮し、講習会受講対象者などを検討し、「初心者」「若年層」「リターンライダー」をターゲットとした新たな講習会を発進するとともに、講習会名称も刷新、「ベーシックライディング レッスン」と命名して令和6年度から開始することとした。

安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

3. グッドライダーミーティング改め「ベーシックライディングレッスン」とは

- ・ 初心者（ビギナー向け）を対象とした安全運転講習会
- ・ レッスンにおける「初心者」の明確な定義付け
 - * 一般公道の走行に不安を抱えている方
 - * 自動二輪車免許取得（原付含む。）後、間もない方
～おおよそ1年以内～
 - * 長いブランクがあって、運転操作に不安を抱えている方
 - * 運転は不慣れだが、バイク仲間が欲しい方
- ・ 二輪車運転技能操作の修得と交通事故防止を目的に、「二輪車安全運転推進委員会資格・二輪車安全運転指導員」のご指導、各都道府県警察本部交通部に所属されている警察官のご協力を受け、講習会を開催している。
- ・ 安全・安心なバイクライフの実現を目指す。

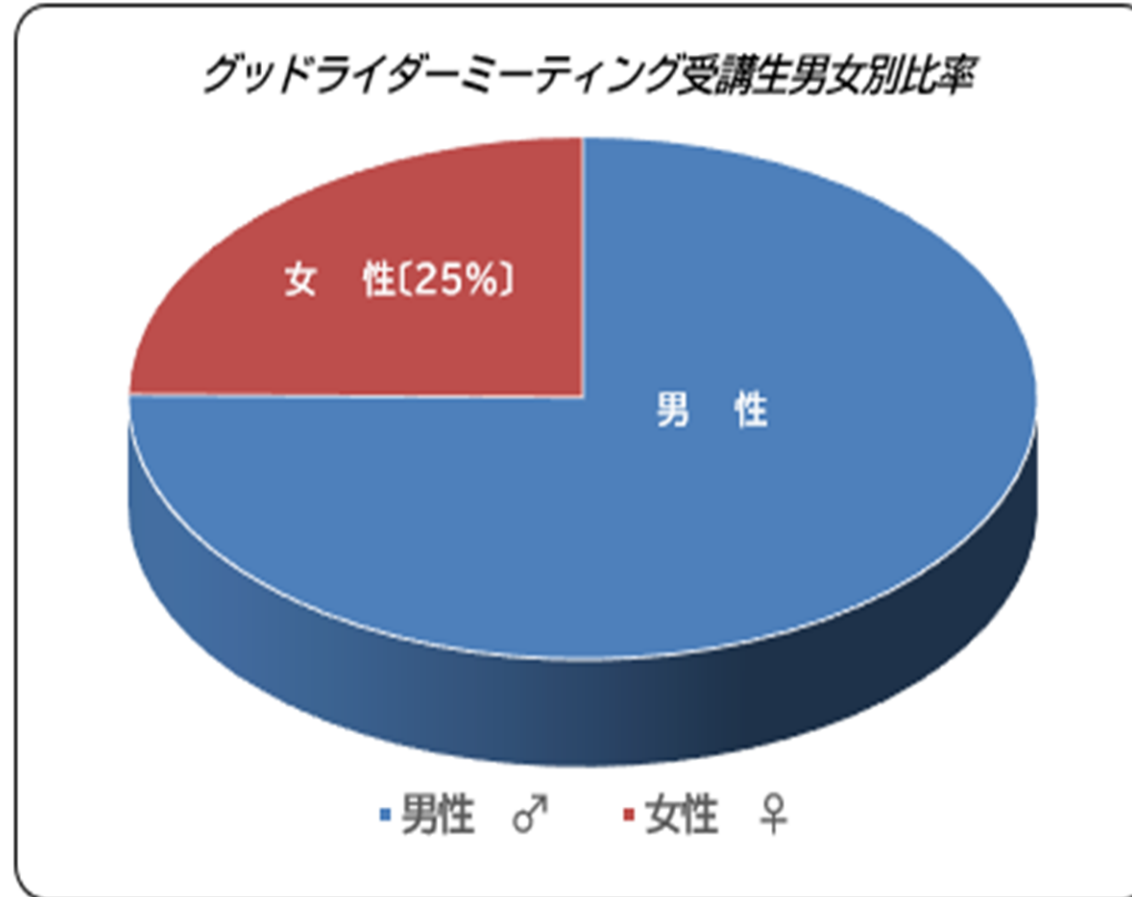


安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

受講生男女別比率	
性別	総数
男性 ♂	1952
女性 ♀	645

男性 ♂	75%
女性 ♀	25%



安全領域活動その3

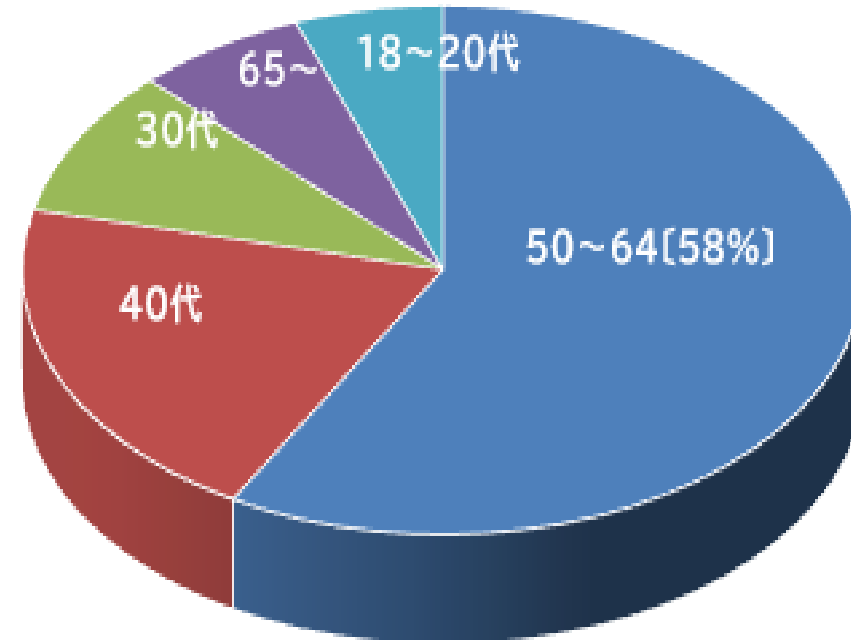
二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

受講生年齢構成	
年齢別	総数
50歳～64歳	1176
40歳代	410
30歳代	183
65歳～	133
18歳～20歳代	115

※ 高校生 9

50歳～64歳	58.0%
40歳代	20.2%
30歳代	9.0%
65歳～	6.6%
18歳～20歳代	5.7%

グッドライダーミーティング受講生年齢構成



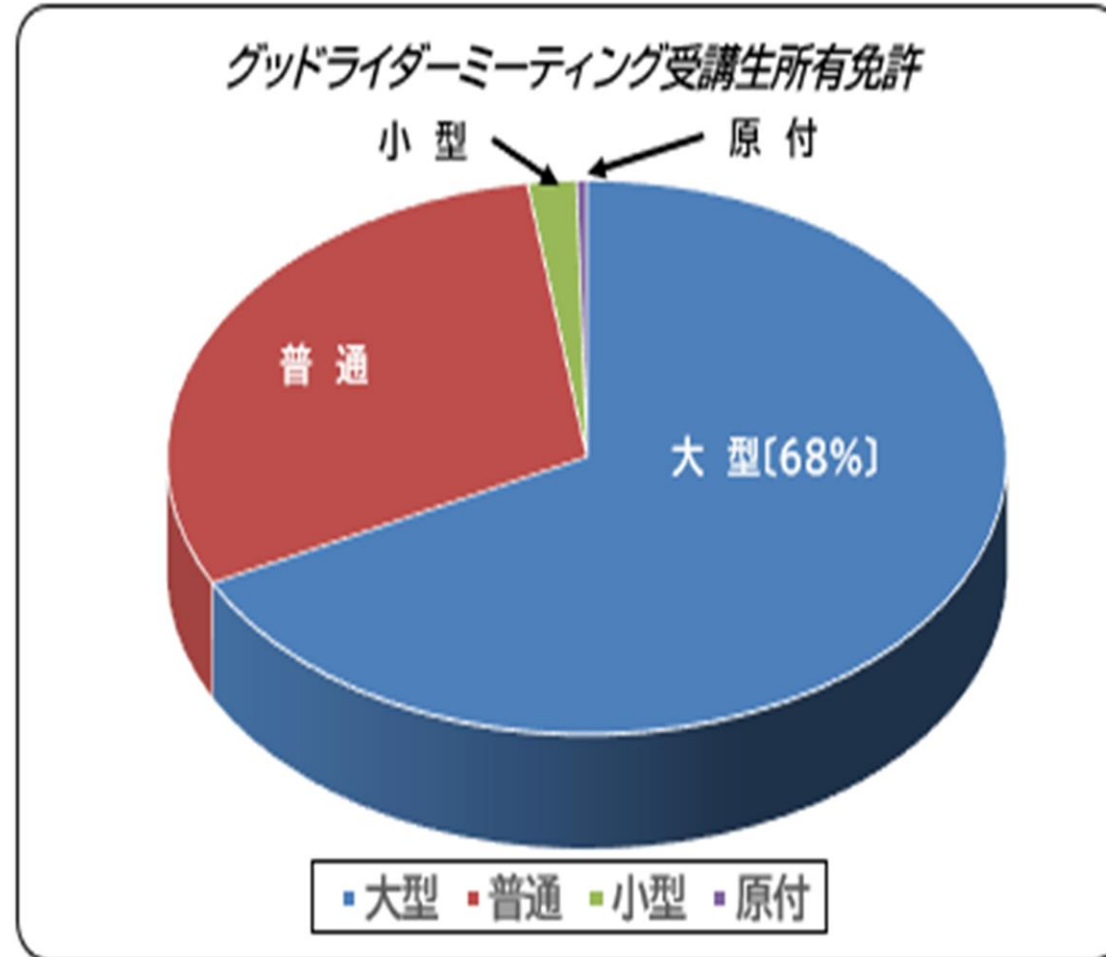
■ 50歳～64歳 ■ 40歳代 ■ 30歳代 ■ 65歳～ ■ 18歳～20歳代

安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

受講生所有免許(AT・MT)	
免許種別	総数
大型	1367
普通	613
小型	38
原付	8

大型	67.5%
普通	30.3%
小型	1.9%
原付	0.4%



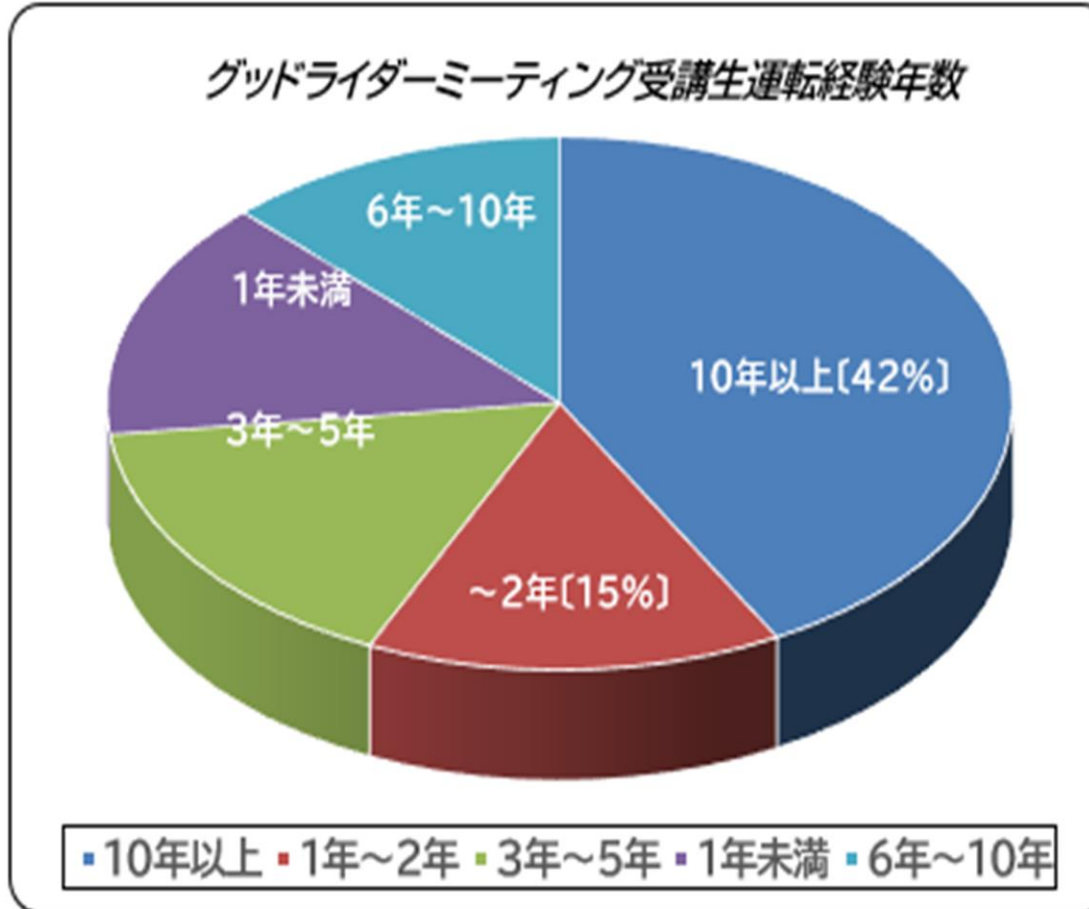
安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

受講生運転経験年数	
年数	総数
10年以上	850
1年～2年	300
3年～5年	328
1年未満	295
6年～10年	249

2022

10年以上	42.0%
1年～2年	14.8%
3年～5年	16.2%
1年未満	14.6%
6年～10年	12.3%

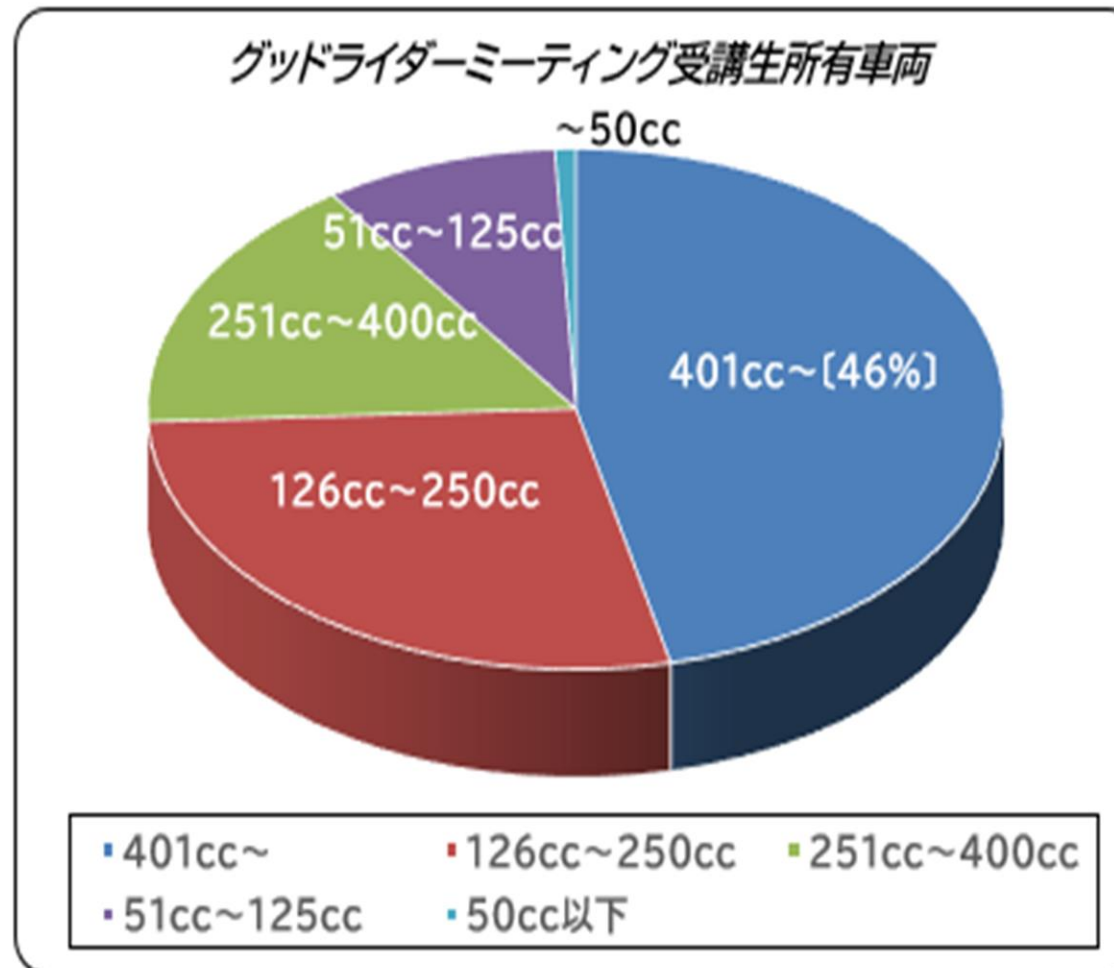


安全領域活動その3

二輪車安全運転講習会（グッドライダーミーティング）事業

受講生所有車両	
排気量	総数
401cc~	941
126cc~250cc	562
251cc~400cc	328
51cc~125cc	179
50cc以下	16

401cc~	46.4%
126cc~250cc	27.7%
251cc~400cc	16.2%
51cc~125cc	8.8%
50cc以下	0.8%



安全領域活動その4

令和5年度

高校生二輪車安全教育事業

1. 活動地域

岩手県から鹿児島県まで全22県

2. 高等学校数

全189校

3. 生徒数（延べ数）

実技 3,068人 座学 6,457人

4. 事業内容

安全運転講習会・交通法規等の座学・人命救急基礎知識（AED等活用）

5. 主となる関係機関等

開催計画をする高等学校始め、教育委員会・各都道府県交通安全協会・指定自動車教習所・二輪車各販売会社・各警察本部

二輪車安全教育は、地方事情によりそれぞれの教育機関等のお考えに格差があるので、一律的な事業展開は難しい。それぞれの地域性を考慮し、あくまでも関係機関のサポートを主とし、当協会としては小さな力、小さな活動しかできないが、「学校の安全教育」「若者の安全教育」に結び付け、また学校によって「安全教育したいが、どうすれば良いか？」などの要請に応えるなど、「手助け」をすることにより、安全教育の普及に繋げたい。

結 び (総 括)

二輪車の安全・安心を確保することに特效薬はなく、例え取締りや罰則の強化をしてもそれは100%ではない。
ではどうすれば良いか・・・・・・・・？



当協会としては、「二輪車安全運転中央委員会に協力する立場」を尊重し、当たり前前のことを当たり前前に、そしてその事業を地道に継続して実践することに「安全・安心」が提供・確保できると信じて事業展開することが重要と考える。

国内4メーカー 安全運転普及活動

日本自動車工業会 二輪車委員会
二輪車企画部会 普及広報担当リーダー

早田 和正

Kawasaki
Let the Good Times Roll

カワサキプラザ主催 Safety Riding School

カワサキプラザ スタッフの育成
(安全運転教育プログラムの実施)

**SUZUKI**

U 3 0 スズキセイフティスクール

スズキ北川ライディングスクール

HONDA

Hondaライディングアドバイザー
Hondaセーフティーアドバイザー
Honda Motorcyclist school (HMS)
Honda GO Bike Lesson
教材・プログラムの開発や普及

**YAMAHA**
Revs Your Heart

Yamaha Riding Academy
YRAインストラクター
YSPライディングサポート
デジタル
職域活動

- カワサキプラザ店頭での個別安全指導
- 各種ユーザーイベント時の安全指導
- ライディングスクールの開催



○ カワサキプラザ主催 Safety Riding School

～ビギナー＆リターンライダー向けのライディングスクールを全国のカワサキプラザ主催にて開催

◆ 全国34都道府県の55会場で67回開催 984名のライダーが受講

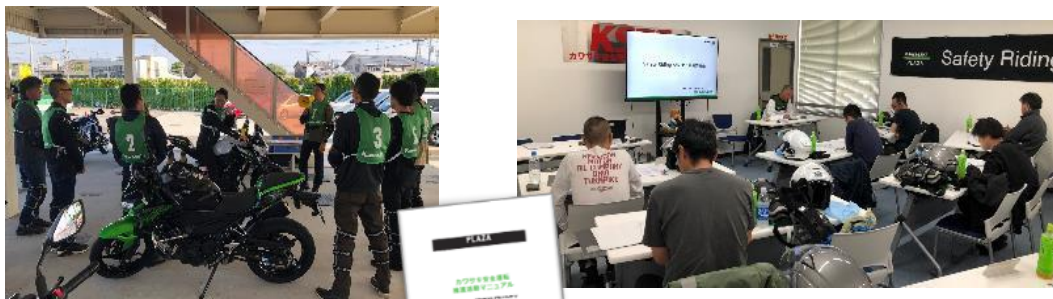


○ カワサキプラザ スタッフの育成（安全運転教育プログラムの実施）

～ユーザーへの安全運転アドバイスに必要な基礎知識や技能、実践的な指導方法習得を目的に教育プログラムを展開～

◆ カワサキプラザ『Safety Riding Adviser』養成講習会

二輪車安全運転推進委員会が認定する指導員資格を保有した全国プラザスタッフの中から、選抜メンバーを対象に2日間カリキュラムを5回開催。カワサキが認定した『Safety Riding Adviser』が全国85店のプラザに在籍し活動の要となっている



<安全推進活動マニュアル>



<会場：カワサキ安全運転トレーニングコース>

スズキの安全運転普及活動

U30スズキセイフティスクール

- 概要** 初心者向け講習
対象 30歳以下の公道走行に不安のある方及び免許は取得したものの運転に自信が無く車両購入に踏み切れない方
内容 座学及び公道走行におけるライディング基礎を練習
会場 主要都市にある教習所など
23年実績 ・ 7/16 静岡県 西部運転免許センター
 ・ 9/ 3 兵庫県 阪神ライディングスクール
 ・ 10/ 9 埼玉県 セイコーモータースクール
24年方針 開催予定（日程調整中）



スズキ北川ライディングスクール

- 概要** ステップアップ講習
対象 初心者からステップアップした方からベテランまで
内容 危機回避能力向上のため、視線、荷重、向変え等、
 総合的に練習し安全運転のためのスキルを身につける。
- 会場** 静岡県 西部運転免許センター
- 23年実績** ・開催 7/9 9/17 11/19 ※ 2/19時点
 ・予定 3/10
- 24年方針** 開催予定（日程調整中）



手渡しの安全

正しい知識/扱い方/乗り方を直に伝え、関係をマンツーマンで築いていく



■ Hondaライディングアドバイザー

- ・“オートバイの正しい取り扱い”や“安全な乗り方”を納車時等でお客様一人ひとりにお伝えしていく
- ・全国で1,600名以上が資格を保有

■ Hondaセーフティーアドバイザー **(NEW)**

- ・2023年に制度新設 eラーニングにより資格取得が可能
- ・初年度となる今年度は 2,000人が資格取得予定

参加体験型の実践教育

実践的な体験を通し、意識に訴えかけ、説得ではなく納得いただく



■ Honda Motorcyclist school (HMS)

- ・全国5か所の交通教育センターで開催
- ・お客様のニーズに応じた様々なコースを設定
- ・年間約1,000回開催し、17,000人以上を動員

■ Honda GO Bike Lesson **(NEW)**

- ・公道走行の不安を解消する初心者向けのレッスン
- ・初年度となる今年度は 現在340名のお客様が参加

上記に加え“お客様とのタッチポイントの多様化”“世の中のデジタル化に合わせた教材・プログラムの開発や普及”

“お客様とのタッチポイントの多様化” “世の中のデジタル化に合わせた教材・プログラムの開発や普及”

■ 危険予測トレーニング(KYT)



■ YouTubeでの安全訴求動画を多数掲載



■ セーフティジャパンアクション (春・秋に実施)



■ 業界（自工会）活動との連携



- <YRA目的> お客様にヤマハ製品を「正しく」「安全に」「楽しく」「役立つように」使用していただくための活動
- <受講対象> 免許を取得した初心者やリターンライダー等
- <内容> オンロード、オフロードレッスン
- <開催実績> 23年33回開催
- <開催予定> 24年36回予定
- <名称> ヤマハ バイクレッスン (旧名称)大人のバイクレッスン



<オンロードレッスン>

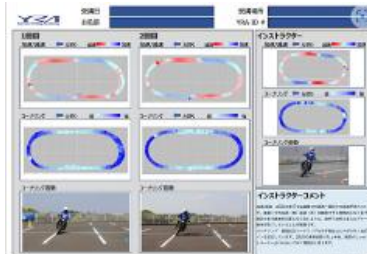
レッスン&ツーリング

クローズドコースで基礎練習
実施後ショートツーリング
公道デビューの後押し



終日場内レッスン

終日クローズドコースで練習
専用デバイス (YRFS) を
車両へ装着しライディング
スキルを可視化



※YRFS (ヤマハ・ライディング・フィードバック・システム)

車両の位置・速度のデータをGPSロガーで取得、走行時の「加速・減速」と「旋回」をデータとして“見える化”
受講者の課題やレッスン中のアドバイスのコメントを入れ参加者へフィードバックし改善ポイントを振り返れるシステム

<限定レッスン>

平成生まれ&女性限定

同年代や女性限定により受講
の敷居を下げレベルアップと
仲間作りの場を提供



大型免許保有者限定

大型バイク運転/取り扱い
の課題と不安を解消
コミュニケーションも活性



<オフロードレッスン>

クローズドコース走行

貸切のクローズドコースで
オフロードの基礎練習
オートバイの楽しさを広げる活動



【2024年新設】愛車持込レッスン

<教育>

◆YRAインストラクター

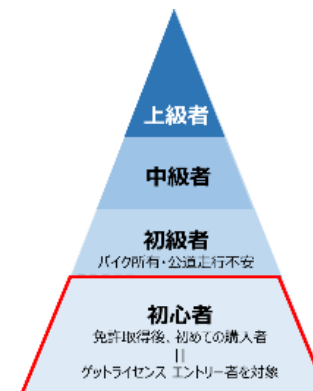
ヤマハ契約インストラクターに対して時勢に応じた座学・実技講習とコンプライアンス研修を実施
スキルに応じた資格を設けインストラクターを育成
現役・引退レーサーをはじめ総勢19名在籍



◆専門店での活動

YSP ライディングサポート
Riding Support

ミッション車とコミューターに分け、座学・動画・実技を交えた講習会をYRAのノウハウをYSP向けに実施
納車時にアドバイスによる不安解消



<デジタル>

YRA参加者の不安と思う声など参考にWEBでビギナーに向けた情報発信を行うと同時に交通安全啓発も掲載



「乗らずに学べるバイクレッスン」バイクに関する動画、何を見えていますか？



ライディングウェアのススメ
暑い時期編



めざせ、脱・初心者ライダー
坂道発進を克服しよう！その2
(オフロード編) ~

<職域活動>

銀行・デリバリー業界等の納品先に対して『安全講習』を実施
静岡では市と協力を行いながら、災害等へのバイクを使用した訓練を20年以上実施



Kawasaki
Let the Good Times Roll

カワサキプラザ主催 Safety Riding School

カワサキプラザ スタッフの育成
(安全運転教育プログラムの実施)

**SUZUKI**

U 3 0 スズキセイフティスクール

スズキ北川ライディングスクール

HONDA

Hondaライディングアドバイザー
Hondaセーフティーアドバイザー
Honda Motorcyclist school (HMS)
Honda GO Bike Lesson
教材・プログラムの開発や普及

**YAMAHA**
Revs Your Heart

Yamaha Riding Academy
YRAインストラクター
YSPライディングサポート
デジタル
職域活動

